Power Mac G5
ユーザーズガイド

Power Mac G5 コンピュータの設置方法、
システムの拡張方法、トラブル対策に関する
重要な情報が書かれています

Apple
1 Infinite Loop
Cupertino, CA 95014-2084
U.S.A.
www.apple.com

アップルコンピュータ株式会社
〒 163-1480 東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号
東京オペラシティタワー
www.apple.com/jp

目次

設置と準備

1

高性能な Power Mac G5 コンピュータをお求めいただき、誠にありがとうございます。この章では、お求めのコンピュータとディスプレイの設置方法について説明します。

Power Mac G5 は、最新の機能を備えたコンピュータです。先進の 64 ビット・デュアルコア・プロセッサ・テクノロジー、高速な DDR2 メモリ、PCI Express のグラフィックカードおよび拡張カード、シリアル ATA 内蔵型記憶装置など、最新のコンピュータ技術を酸化皮膜処理したアルミニウム製シャーシに搭載しています。また、内部の部品には、簡単にアクセスできるようになっています。

Power Mac G5 を設置する

お求めの Power Mac G5 は、手早く設置してすぐに使い始めることができるように設計されています。Power Mac G5 を設置するには、以下の数ページの手順に従ってください。

始める前に、コンピュータの外側と側面パネルの内側にある保護用のフィルムをすべて外してください。側面パネルの開きかたについては、46 ページの「コンピュータのカバーを開く」を参照してください。

手順 1：コンピュータとディスプレイを設置する

コンピュータは、両方のハンドルを使って適切な方法で持ち上げてください。お使いのディスプレイが重い場合には、同様に適切な方法で持ち上げて設置するようにしてください。コンピュータとディスプレイを設置する際には、以下の点について注意してください：

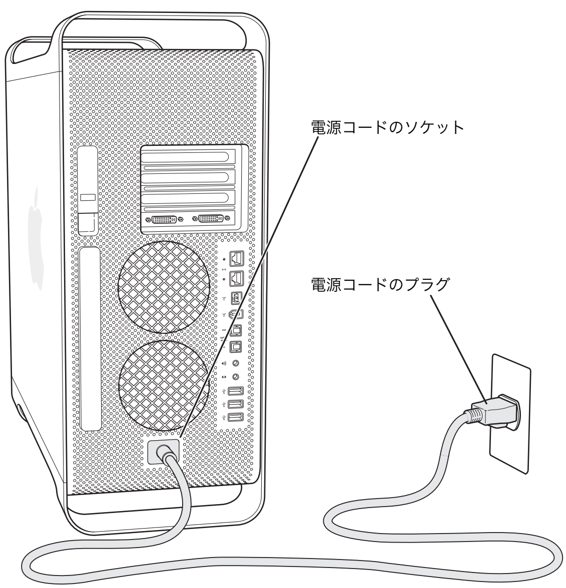
- 安定した平らな場所に置きます。
- 電源コードのコネクタが壁などの障害物にぶつかって、折れ曲がったりしないことを確認します。
- ディスプレイやコンピュータの前面、背面、または下部の冷却用ファンへの空気の流れを妨げるものがないことを確認します。
- コンピュータの光学式ドライブのトレイが開くのに十分なスペースが前方にあることを確認します。

> **警告：**アップルでは、側面パネルを所定の位置に取り付け、Power Mac G5 を直立させた状態で操作することをお勧めします。Power Mac G5 は、横になっていたり、側面パネルが外れたりしていると、正しく動作しません。

コンピュータとディスプレイへの電源を完全に切断する唯一の方法は、電源から電源プラグを抜くことです。必要なときにコンピュータとディスプレイのプラグをすぐに抜けるよう、電源コードには簡単に手が届くようにしてください。

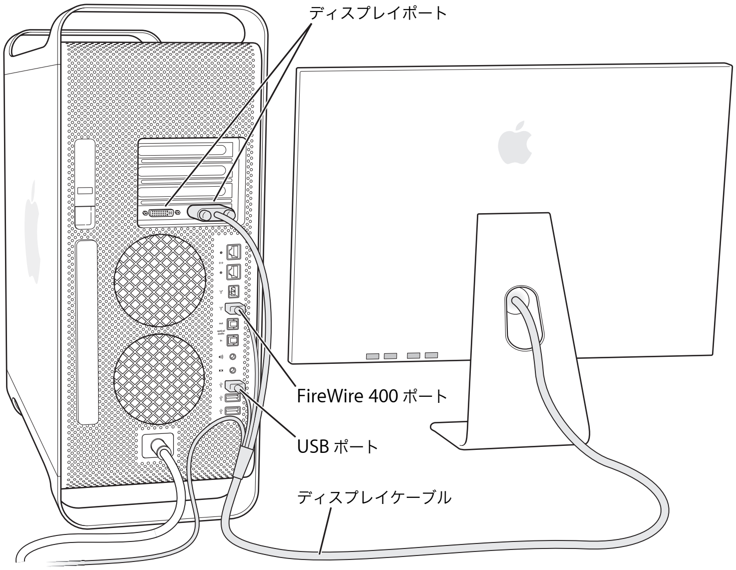
手順 2：電源コードを接続する

電源コードは、コンピュータの背面部にある電源コードソケットの端子部に完全に差し込んでください。電源コードのもう一端は、接地されたコンセントまたは接地された電源タップに差し込んでください。



手順 3：ディスプレイを接続する

ディスプレイは、下の図のように接続します。ディスプレイには、1 つ以上のケーブルを接続するものがあります。詳しい設定については、ディスプレイに付属する説明書を参照してください。



DVI（Digital Visual interface）コネクタを装備したディスプレイを、Power Mac G5 の背面にあるディスプレイポートに 2 台接続できます。

次のように接続できます：

- いずれかのポートに 20 または 23 インチのディスプレイ（20 または 23 インチの Apple Cinema Display など）
- DVI ポート 1 に 30 インチのディスプレイ（30 インチの Apple Cinema Display など）



DVI ディスプレイポート

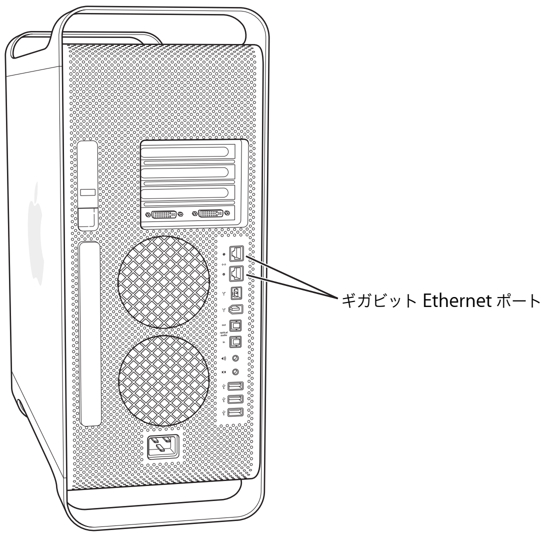
以下のディスプレイアダプタのいずれかを使用して、ADC（Apple Display Connector）や VGA（Video Graphics Array）コネクタを装備したディスプレイを接続したり、映像装置を接続することもできます：

- VGA ディスプレイを接続するには、DVI-VGA アダプタ（お使いの Power Mac G5 に付属）を使用してディスプレイを DVI ポートに接続します。
- ADC ディスプレイを接続するには、DVI-ADC アダプタ（別売り）を使用してディスプレイを DVI ポートに接続します。
- テレビ、ビデオデッキ、またはその他の映像装置を接続するには、DVI-Video アダプタ（別売り）を使用して装置を DVI ディスプレイポート 2 に接続します（28 ページの「ディスプレイ、テレビ、映像装置を接続する」を参照）。

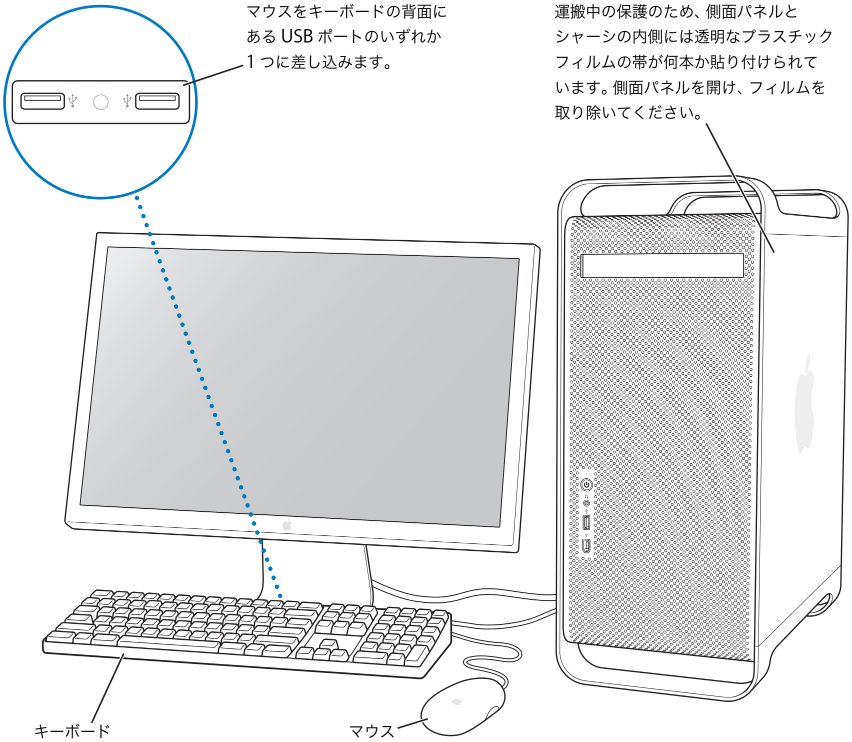
DVI-ADC アダプタまたは DVI-Video アダプタを購入するときは、アップル製品取扱販売店、Apple Retail Store（Apple Store 直営店）、またはオンラインの Apple Store（www.apple.com/japanstore）を利用してください。ディスプレイの接続について詳しくは、第 3 章「Power Mac G5 を使用する」のガイドラインを参照してください。

手順 4：Ethernet ケーブルを接続する

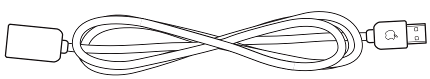
インターネットまたはネットワークにアクセスするには、Ethernet ケーブルの一端を Power Mac G5 の背面にある Ethernet ポートのいずれかに接続します。もう一端を DSL モデム、ケーブルモデム、または Ethernet ネットワークに接続します。



手順 5：キーボードとマウスを接続する
キーボードケーブルを、コンピュータまたはディスプレイの USB ポート（ψ）に接続します。マウスケーブルをキーボードの USB ポートに差し込みます。



参考：キーボードケーブルがコンピュータの USB ポートに届かない場合は、コンピュータに付属のキーボード延長ケーブルを使用します。


Apple キーボード延長ケーブル

Wireless Keyboard と Wireless Mouse を使用する
Power Mac G5 と一緒に Apple Wireless Keyboard と Apple Wireless Mouse を購入した場合、コンピュータでの設定手順については、キーボードとマウスに付属する説明書を参照してください。

手順 6：Power Mac G5 の電源を入れる
電源を入れるときは、コンピュータの前面にあるパワーボタン（⏻）を押します。アップル製ディスプレイの中には、ディスプレイのパワーボタンによってコンピュータを起動できるものがあります。ディスプレイの電源を別に入れる必要がある場合は、ディスプレイのパワーボタンを押します。

設置で問題が起きたときは

画面に何も表示されなかったり、コンピュータが正しく起動していないように思われる場合は、以下の点を確認してください：

- コンピュータの電源コードが正しく接続されていますか？ 電源コードが電源タップに接続されている場合は、電源タップのスイッチが入っていますか？
- 電源コードはコンピュータの背面にしっかりと接続されていますか？
- キーボードおよびディスプレイケーブルは正しく接続されていますか？
- ディスプレイの電源は入っていますか？ ディスプレイの輝度とコントラストは正しく調節されていますか？ お使いのディスプレイに輝度とコントラストの調節機能がついている場合は、それを使って調節してください。
- それでも画面に何も表示されない場合は、コンピュータを再起動してください。コンピュータが終了するまで、パワーボタンを約 5 秒間押し続けます。もう一度パワーボタンを押して、コンピュータを起動します。
- コンピュータを起動したときに、画面に？マークが点滅したりステータスランプが点滅を繰り返したりした場合は、69 ページの第 5 章「トラブルへの対処方法」を参照してください。

次の手順

はじめてコンピュータの電源を入れると、「設定アシスタント」が起動します。「設定アシスタント」を使うと、インターネット情報およびメール情報の入力やコンピュータのアカウントの設定を簡単に行うことができます。別の Mac がある場合は、「設定アシスタント」を使って、ファイル、アプリケーション、その他の情報を古い Mac から新しい Power Mac G5 に簡単に転送することもできます。

Power Mac G5 に情報を転送する

「設定アシスタント」を使って、別の Mac から新しい Power Mac G5 に自動的に情報を転送できます。情報を転送するときは、以下の点を確認してください：

- もう 1 台の Mac に内蔵 FireWire が搭載されていて、FireWire ディスクモードに対応している必要があります。
- もう 1 台の Mac に Mac OS X v10.1 以降がインストールされている必要があります。
- 2 台のコンピュータを接続する FireWire ケーブルが必要です。

「設定アシスタント」を使うと、画面に表示される指示に従うだけで、情報を転送することができます。Power Mac G5 に情報を転送しても、もう 1 台の Mac の情報に影響はありません。以下のような情報を転送できます：

- 環境設定やメールなどのユーザアカウント
- ネットワーク設定。新しいコンピュータは、もう 1 台の Mac と同じネットワーク設定で動作するよう自動的に設定されます
- 「アプリケーション」フォルダ。別の Mac で使用していたアプリケーションを、新しい Power Mac G5 で使用できます（転送するアプリケーションによっては、インストールし直す必要がある場合があります）
- ハードディスクに保存されているファイルやフォルダ。これにより、古い Mac で使用していたファイルやフォルダを簡単に利用できます

Power Mac G5 をはじめて起動したときに「設定アシスタント」を使って情報を転送しなくても、後で「移行アシスタント」を使って情報を転送できます。「アプリケーション」フォルダを開き、「ユーティリティ」を開いて、「移行アシスタント」アイコンをダブルクリックします。

参考：後で「移行アシスタント」を使って情報を転送する場合は、古いコンピュータで FileVault が切になっていることを確認してください。FileVault を切にするには、アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択し、「セキュリティ」をクリックして、画面に表示される指示に従います。

Power Mac G5 のインターネット接続を設定する

ユーザアカウントおよびネットワーク設定情報を転送しなかった場合は、「設定アシスタント」を使って、Power Mac G5 の一般的な設定とインターネット接続の設定を行うことができます。ホームユーザの場合、インターネットにアクセスするには、インターネット・サービス・プロバイダ（ISP）に加入する必要があります（別途費用が必要になる場合があります）。インターネットアカウントを持っている場合は、入力する必要のある情報を 89 ページの付録 C「インターネットに接続する」で確認してください。

詳しい情報

Power Mac G5 の使いかたについて詳しくは、以下を参照してください：

知りたいこと ...	参照先 ...
Power Mac G5 独自のハードウェア機能を使用する	25 ページの第 3 章「Power Mac G5 を使用する」
ドライブ、メモリ、およびカードの増設、またはバッテリーを交換する	45 ページの第 4 章「コンピュータの内部を扱う作業」
コンピュータに問題があるときに、その問題を解決する	69 ページの第 5 章「トラブルへの対処方法」
Mac OS 9 をインストールして、コンピュータで Mac OS 9 アプリケーションを使用する	75 ページの「Mac OS 9 をインストールする」
コンピュータをインターネットに接続する	89 ページの付録 C「インターネットに接続する」

Power Mac G5 をスリープ状態にする／システム終了する

Power Mac G5 での作業を終了するときは、コンピュータをスリープ状態にするか、システム終了することができます。

Power Mac G5 をスリープ状態にする

Power Mac G5 を使った作業を少しの間だけ中断するときは、コンピュータをスリープ状態にしてください。コンピュータがスリープ状態になっている場合、ディスプレイの画面は暗くなっています。コンピュータはスリープ状態からすぐに元の状態に戻すことができます（起動の過程は省略されます）。

コンピュータをすぐにスリープ状態にするには：

- アップル（）メニュー＞「スリープ」と選択します。
- Power Mac G5 の前面にあるパワーボタンを押します。
- アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択し、「省エネルギー」をクリックして、スリープタイマーをセットします。

コンピュータをスリープ状態から元の状態に戻すには、次のいずれかの操作を行います：

- キーボード上の任意のキーを押します。
- マウスをクリックします。

Power Mac G5 をシステム終了する

Power Mac G5 を数日間使用しない場合は、電源を切ってください。Power Mac G5 の電源を切るには、アップル（）メニュー＞「システム終了」と選択します。

警告：Power Mac G5 の電源を切るときは、電源タップのスイッチを切ったり、電源コードをコンセントから抜いたりしないでください（ただし、ほかの方法で電源を切れない場合は除きます）。コンピュータの電源を正しく切らなかった場合、ファイルやシステムソフトウェアが壊れることがあります。

警告：Power Mac G5 を持ち運ぶときは、その前にシステムを終了します。ハードディスクが回転しているときに持ち運ぶと、ハードディスクが故障して、データが失われたり、ハードディスクから起動できなくなるおそれがあります。

Power Mac G5 について

2

この章では、お使いの Power Mac G5 に関する基本的な情報について説明します。

お使いのコンピュータのさまざまな部分の概要と、デスクトップ表示のカスタマイズ、助けが必要なときの調べかた、ソフトウェアを最新の状態に保つ方法、プリンタへの接続などの一般的な操作に関する情報を含む、Mac OS X の機能について説明します。

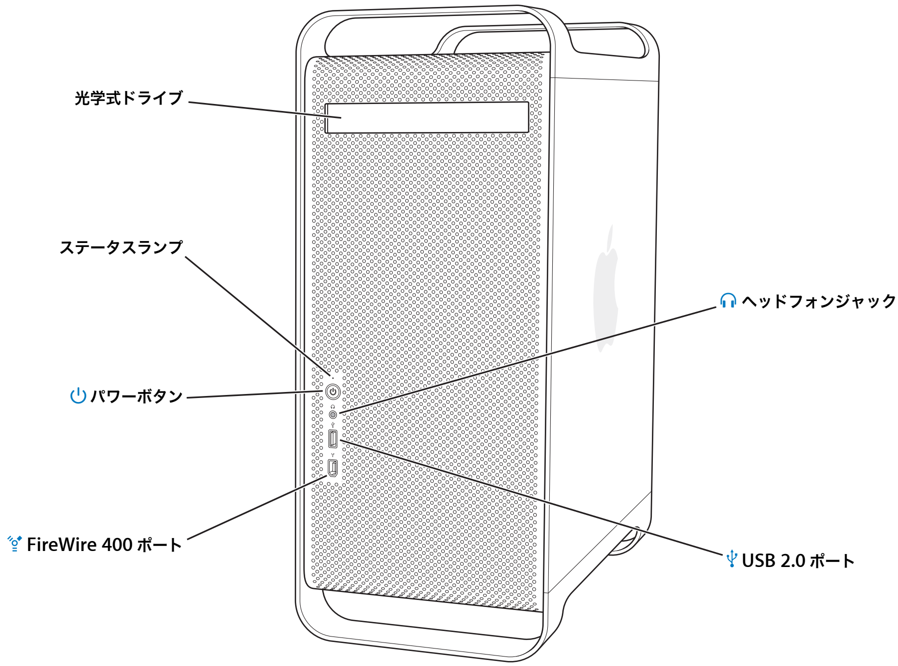
最新情報を入手する

アップルでは、システムソフトウェアを頻繁に更新し、新しいバージョンをリリースしています。そのため、このマニュアルに示されている画像は、実際の画面に表示されるものと多少異なる場合があります。

アップルの Web サイト（www.apple.com/jp）から、アップルの最新ニュース、無料ダウンロード、およびお使いのPower Mac G5のソフトウェアおよびハードウェアのオンラインカタログを入手できます。

また、アップルのサービス＆サポートの Web サイト（www.apple.com/jp/support）には、多くのアップル製品のマニュアルおよびすべてのアップル製品の技術サポートがあります。

Power Mac G5 の基本的な機能



光学式ドライブ
お使いの Power Mac G5 には、DVD+R DL/DVD±RW/CD-RW SuperDrive が搭載されています。各ドライブでは、CD-ROM ディスク、フォト CD、一般的な音楽 CD、DVD ディスク、および DVD ムービーを読み取ることができます。SuperDrive では、音楽、書類、その他のデジタルファイルを CD-R、CD-RW、DVD±R、DVD±RW、DVD+R DL ディスクに書き込むことができます。

光学式ドライブを開くには、Apple Keyboard のメディアイジェクト（⏏）キーを押します。

ステータスランプ
コンピュータの電源が入っているときは、このランプが白く点灯します。コンピュータがスリープ状態のときは、このランプが点滅します。

パワーボタン
Power Mac G5 の電源を入れたり、スリープ状態にしたり、スリープ状態から元の状態に戻したりするときは、このボタンを押します。コンピュータを再起動するには、コンピュータが終了するまでこのボタンを約 5 秒間押し続け、再度このボタンを押してコンピュータを起動します。

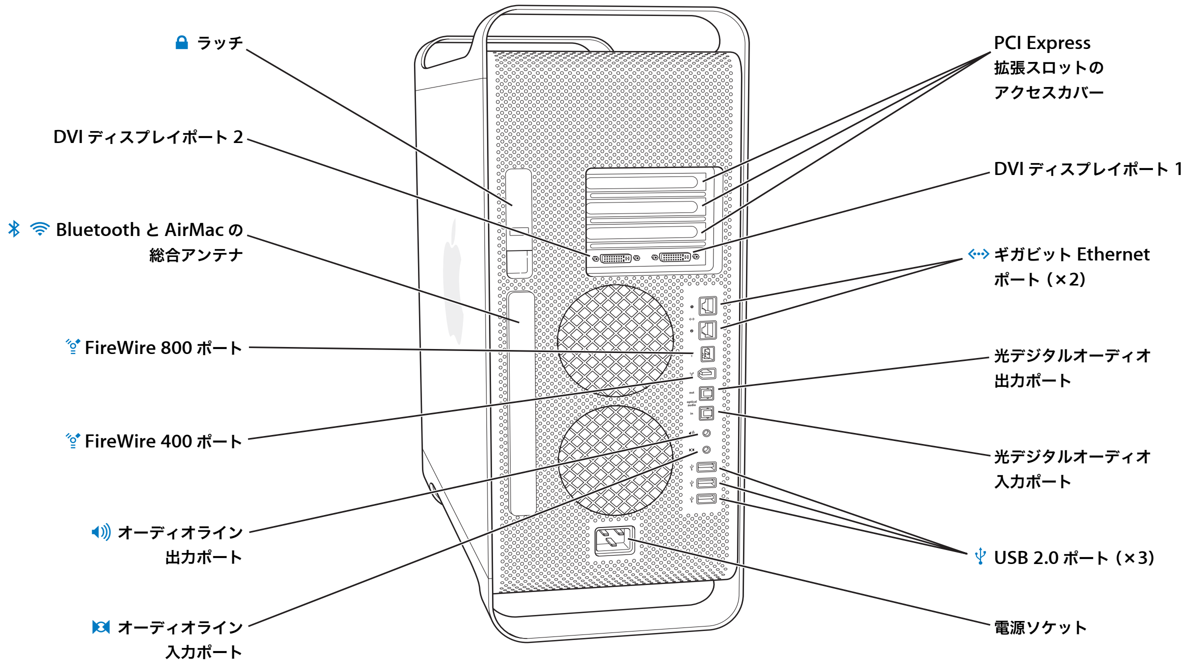
アップル製ディスプレイの中には、ディスプレイのパワーボタンを触ったり押したりすることで、スリープ状態にすることができるものがあります。

FireWire 400 ポート
お求めの Macintosh と FireWire 対応の装置（DV カメラ、ハード・ディスク・ドライブなど）との接続に使用します。FireWire を使えば、これらの装置の間でデータを高速転送できます。FireWire 400 ポートは、100、200、および 400 Mbps（メガビット／秒）のデータ速度に対応しています。

ヘッドフォンジャック
ヘッドフォンジャックを介して、お使いの Macintosh とヘッドフォンを接続します。プラグがヘッドフォンジャックに差し込まれているとき、内蔵スピーカーは消音になります。

USB 2.0 ポート
Macintosh と USB 装置（キーボード、マウス、プリンタ、スキャナ、スピーカー、USB マイクロフォン、USB ハブなど）との接続に使用します。ディスプレイに USB ポートが付いている場合もあります。

Power Mac G5 のポートとコネクタ



ラッチ
側面パネルを開けて Power Mac G5 内部の部品を取り扱うときは、このラッチを持ち上げます。また、セキュリティロックをラッチに取り付けて内部の部品の盗難を防止することができます。

DVI ディスプレイポート
DVI (Digital Visual Interface) コネクタを使用するディスプレイと DVI ディスプレイポートの接続に使用します。20 インチまたは 23 インチの Apple Cinema Display などのディスプレイは、どちらかのディスプレイポートに接続できます。30 インチの Apple Cinema Display などの 30 インチディスプレイは、DVI ディスプレイポート 1 に接続できます。お使いの Power Mac G5 に付属の DVI-VGA アダプタを使って VGA（Video Graphics Array）コネクタを使用するディスプレイを接続することもできます。

Bluetooth と AirMac Extreme の統合アンテナ
お使いの Power Mac G5 にオプションの Bluetooth® および AirMac Extreme テクノロジーが搭載されている場合は、このアンテナが障害物によって遮断されないようにしてください。

FireWire 400 および 800 ポート
FireWire 400 ポートは、100、200、および 400 Mbps のデータ速度に対応しています。FireWire 800 ポートは、100、200、400、および 800 Mbps のデータ速度に対応しています。

アナログ式オーディオライン出力ポート
電源内蔵式アナログスピーカーやアナログ出力機能を備えたその他の装置を接続することができます。

アナログ式オーディオライン入力ポート
電源内蔵式マイクロフォン、MP3 および CD プレーヤー、アナログ出力機能を備えたその他の装置を接続することができます。

PCI Express スロットのアクセスカバー（× 3）
2 番から 4 番のカバー付きスロットに最大 3 枚の PCI（Peripheral Component Interconnect）Express カードを取り付けることで、Macintosh を拡張できます。

ジャンボフレームに対応したギガビット Ethernet ポート
お求めの Macintosh を高速 Ethernet ネットワークに接続し、インターネットやプリンタやサーバなどのネットワーク上の装置にアクセスすることができます。また、CAT 5e ケーブルを使用してネットワーク上の情報を共有することもできます。

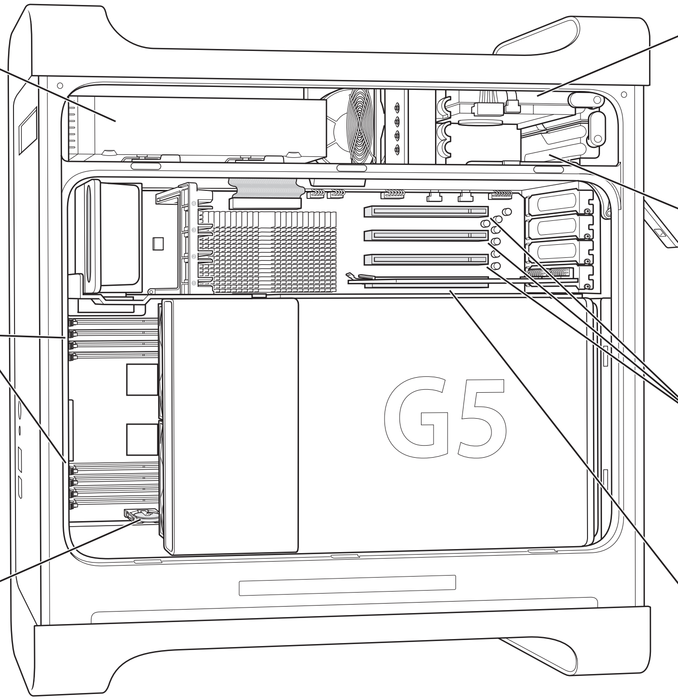
光デジタルオーディオ出力ポート
Macintosh にレシーバーやその他のデジタルオーディオ装置を接続することができます。

光デジタルオーディオ入力ポート
Macintosh に CD プレーヤーやミニディスクプレーヤーなどのデジタルオーディオ装置を接続することができます。

3 つの USB 2.0 ポート
Macintosh と USB 装置（キーボード、マウス、プリンタ、スキャナ、スピーカー、USB マイクロフォン、USB ハブなど）との接続に使用します。また、Apple Keyboard およびディスプレイに USB ポートが付いている場合があります。

電源ソケット
コンピュータの電源コードを接続します。このコードは特別な高電流コードです。通常の電源コードや拡張コードは使用しないでください。

内部拡張オプション



光学式ドライブ
上段ハード・ディスク・ドライブ・ベイ
下段ハード・ディスク・ドライブ・ベイ
DDR2 SDRAM スロット
2〜4 番：PCI Express
バッテリー
1 番：PCI Express グラフィック
（グラフィックカード搭載済み）

光学式ドライブ
Power Mac G5 には、DVD+R DL/DVD±RW/CD-RW SuperDrive が付属しています。光学式ドライブについては、35 ページの「光学式ドライブを使用する」を参照してください。

DDR2 SDRAM スロット
Power Mac G5 には、8 基の DDR2 SDRAM スロットが装備されています。PC2-4200、533 MHz のメモリを増設するには、メモリスロットに DDR2 SDRAM DIMM をペアで取り付けます。メモリの増設または Power Mac G5 で使用される特定のメモリタイプについて詳しくは、51 ページの「メモリを取り付ける」を参照してください。

バッテリー
Power Mac G5 ではバッテリーが使われています。起動時に問題が発生したり、システムの日付や時間が頻繁に不正確になるような場合は、バッテリーの交換が必要かもしれません。詳しくは、68 ページの「内部バックアップバッテリーを交換する」を参照してください。

ハード・ディスク・ドライブ・ベイ
Power Mac G5 には、上段のハード・ディスク・ドライブ・ベイにハード・ディスク・ドライブが搭載されています。下段のハード・ディスク・ドライブ・ベイに追加のハード・ディスク・ドライブを取り付けることができます。コンピュータには、最大 2 台のシリアル ATA ドライブを取り付けることができます。詳しくは、57 ページの「内蔵型記憶装置を取り付ける」を参照してください。

PCI Express スロット
Power Mac G5 には、3 基の PCI Express 拡張スロットが装備されています。スロット 2 番から 4 番に PCI カードを装着して、コンピュータの機能を拡張することができます。詳しくは、65 ページの「PCI Express カードを追加する」を参照してください。

PCI Express グラフィックスロット
PCI Express グラフィックスロットにセットしたカードにディスプレイを接続します。詳しくは、28 ページの「ディスプレイ、テレビ、映像装置を接続する」または 65 ページの「PCI Express カードを追加する」を参照してください。

Mac OS X について

お使いのコンピュータには、Mac OS X Tiger が搭載されています。これには、すべてのファイルのインデックスを自動的に作成する改良された検索エンジン「Spotlight」、「ウィジェット」と呼ばれる便利で小さいアプリケーションを簡単に利用するためのインターフェイス「Dashboard」、開いているすべてのアプリケーションを分かりやすく並べて表示する「Exposé」などが含まれています。

Mac OS X についてさらに詳しく知りたいときは、お使いの Power Mac G5 に付属の冊子「Welcome to Tiger」を参照してください。または「Mac ヘルプ」を開いて、情報を参照してください。新しいユーザ、経験豊富なユーザ、および Mac にスイッチしたユーザ向けの情報が見つかります。Mac OS X の使用中に問題が発生した場合は、69 ページの第 5 章「トラブルへの対処方法」を参照するか、または画面の上部にあるメニューバーから「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択してください。

Mac OS X とソフトウェア・アプリケーションの互換性に関する情報や、Mac OS X についてもっと詳しく知りたいときは、アップルの Web サイト（www.apple.com/jp/macosx）を参照してください。

参考：お使いの Power Mac G5 で Mac OS 9 アプリケーションを使用したい場合は、Classic 環境に対応したバージョンの Mac OS 9 をインストールする必要があります（75 ページの「Mac OS 9 をインストールする」を参照してください）。Mac OS 9 を主要オペレーティングシステムとして Power Mac G5 にインストールすることはできません。また、お使いのコンピュータを Mac OS 9 で起動することはできません。

デスクトップをカスタマイズする／環境設定を行う

「システム環境設定」を使用すると、デスクトップの外観を好みに合わせて簡単に変更できます。メニューバーからアップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。



コンピュータに慣れてきたら、「システム環境設定」を試してみてください。「システム環境設定」は、Power Mac G5 に関するほとんどの設定を変更できます。詳しくは、「Mac ヘルプ」を開き、「システム環境設定」または変更したい特定の環境設定のパネルを検索してください。

参考：アップルでは、システムソフトウェア、アプリケーション、インターネットサイトを頻繁に更新し、新しいバージョンをリリースしています。そのため、このマニュアルに示されている画像は、実際の画面に表示されるものと多少異なる場合があります。

Mac ヘルプで情報を探す

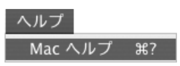
Mac の使用に関するほとんどの情報は、「Mac ヘルプ」にあります。

「Mac ヘルプ」を開くには：

1 「Dock」（画面下部に表示されるアイコンのバー）の「Finder」アイコンをクリックします。



2 「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択します（メニューバーの「ヘルプ」メニューをクリックして「Mac ヘルプ」を選びます）。



3 検索欄をクリックして質問を入力し、キーボードの Return キーを押します。



アプリケーションが動かなくなったときまたは応答しないときは

Mac OS X には、コンピュータを再起動せずに、操作不能になったアプリケーションを終了する方法が用意されています。操作不能になったアプリケーションを終了すると、開いているほかのアプリケーションでの作業を保存できる場合があります。

アプリケーションを強制終了するには：

1 コマンド（⌘）＋ Option ＋ Esc キーを押すか、アップル（）メニューから「強制終了」を選択します。

「アプリケーションの強制終了」ダイアログが表示され、問題のアプリケーションが選択されます。



2 「強制終了」をクリックします。

問題のアプリケーションが終了します。ほかのアプリケーションはすべて開いたままになります。

必要に応じて、Classic 環境を強制終了できます。この場合、すべての Classic アプリケーションが閉じます。また、このダイアログから「Finder」を再起動することもできます。

アプリケーションに関するその他の問題が発生した場合は、69 ページの第 5 章「トラブルへの対処方法」を参照してください。

ソフトウェアを最新の状態に保つ

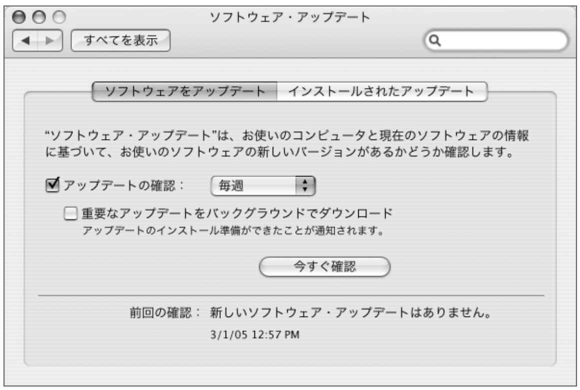
インターネットに接続し、無料の最新ソフトウェアバージョン、ドライバ、およびその他の強化機能をアップルから自動的にダウンロードしてインストールできます。

インターネットに接続されている場合、「ソフトウェア・アップデート」がアップルのインターネットサーバをチェックして、お使いのコンピュータで利用できるアップデートがあるかどうかを確認します。お使いの Mac が定期的にアップルのサーバをチェックして、アップデートされたソフトウェアをダウンロードしてインストールするように設定することもできます。

アップデートされたソフトウェアを確認するには：

1 「システム環境設定」を開きます。

2 「ソフトウェア・アップデート」アイコンをクリックし、画面に表示される指示に従います。



- 詳しくは、「Mac ヘルプ」で「ソフトウェア・アップデート」を検索してください。
- Mac OS X に関する最新情報は、Mac OS X の Web サイト（www.apple.com/jp/macosx）を参照してください。

プリンタに接続する

プリンタに付属のマニュアルの指示に従って、必要なソフトウェアをインストールし、プリンタを接続します。Mac OS X には、ほとんどのプリンタのドライバが内蔵されています。

ほとんどのプリンタには、USB ケーブルを介して接続できます。Ethernet などのネットワーク接続が必要なプリンタもあります。AirMac Express または AirMac Extreme ベースステーションをお持ちの場合は、USB プリンタをコンピュータではなくベースステーションに接続して、ワイヤレスでプリントすることができます。

USB または FireWire プリンタに接続すると、通常は自動的にプリンタが検出され、使用可能なプリンタのリストに追加されます。ネットワークに接続されたプリンタからプリントする場合は、それらのプリンタのネットワーク名またはアドレスが必要になる場合があります。

プリンタを設定するには：

1 「システム環境設定」を開き、「プリントとファクス」アイコンをクリックします。

2 「プリント」をクリックし、「追加」（+）ボタンをクリックして、プリンタを追加します。

3 使用するプリンタを選択し、「追加」をクリックします。

4 プリンタリストに表示されるプリンタを選択するときは、「追加」ボタン（+）および「取り除く」ボタン（–）を使用します。



プリント処理を監視する

プリンタに書類を送信した後で、プリント処理を監視できます。これには、プリントジョブの中断や一時保留も含まれます。プリント処理を監視するには、「Dock」にあるプリンタのアイコンをクリックして、プリンタウインドウを開きます。プリントキュー内のプリントジョブが表示され、それらのジョブを操作できます。

詳しくは、「Mac ヘルプ」を開き、「プリント」を検索してください。

Power Mac G5 を使用する

3

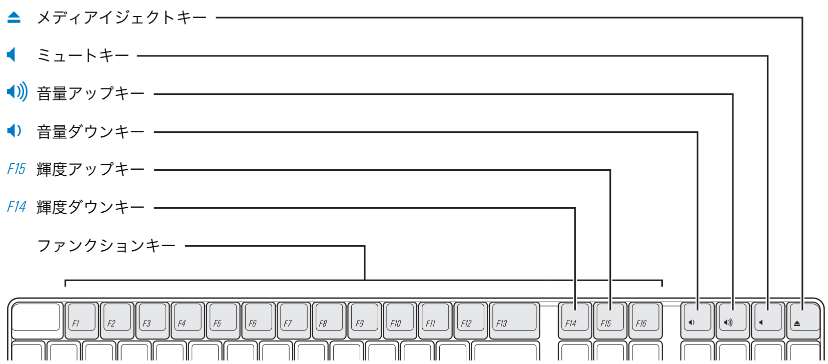
この章では、Power Mac G5 コンピュータの機能の使いかたについて説明します。キーボード、マウス、オーディオとネットワーク機能や、USB、FireWire、AirMac、および Bluetooth テクノロジーについての説明が含まれます。

重要な情報については、次のセクションを参照してください：

- 26 ページの「Apple Keyboard を使用する」
- 27 ページの「Mighty Mouse を使用する」
- 28 ページの「ディスプレイ、テレビ、映像装置を接続する」
- 30 ページの「USB（Universal Serial Bus）を使用する」
- 32 ページの「FireWire で接続する」
- 34 ページの「オーディオ装置を接続する」
- 35 ページの「光学式ドライブを使用する」
- 37 ページの「Ethernet ネットワークに接続する」
- 39 ページの「AirMac Extreme ワイヤレスネットワークについて」
- 41 ページの「Bluetooth 2.0+EDR ワイヤレステクノロジーを使用する」
- 43 ページの「2 台の Macintosh コンピュータ間で情報を転送する」

Apple Keyboard を使用する

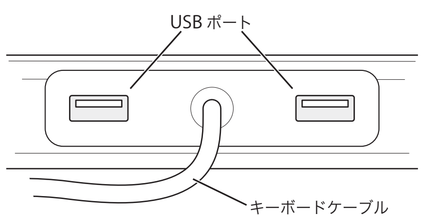
Apple Keyboard のファンクションキーには、使用頻度の高い機能があらかじめ設定されています。メディアイジェクト（⏏）キーを押すと、光学式ドライブからディスクを取り出せます。音量アップキーまたは音量ダウンキーを押すと、音量を調節できます。消音キーを押すと、音を出したり消したりできます。輝度アップキーや輝度ダウンキーを使って、アップル製ディスプレイの輝度レベルを調整することもできます。



参考：他社製のキーボードを使っている場合、光学式ディスクを取り出すときは、F12 キーを押します。

Apple Keyboard には、2 基の USB（Universal Serial Bus）1.1 ポートが装備されています。キーボードの背面にある USB ポートに、マウスケーブルやその他の USB 装置を接続できます。

Power Mac G5 と一緒に Apple Wireless Keyboard を購入した場合、詳しい情報については、キーボードに付属の説明書を参照してください。

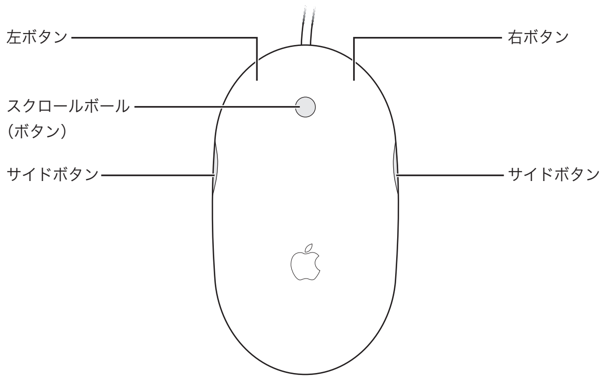


キーボードについての詳しい情報

キーボードについて詳しくは、「Mac ヘルプ」を参照してください。「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「キーボード」で検索してください。

Mighty Mouse を使用する

お使いの Power Mac G5 には、Mighty Mouse が付属しています。このマウスには、スクロールの調整およびクリックが可能な 360 度スクロールボール、圧力を感知する 2 つのサイドボタン、およびタッチセンサー式の右ボタンと左ボタンが付いています。Mighty Mouse を 1 ボタンのマウスとして設定することもできます。また、スクロールボールを有効にしたり、Exposé を起動したり、「Dashboard」を表示したりする動作をマウスに設定することもできます。

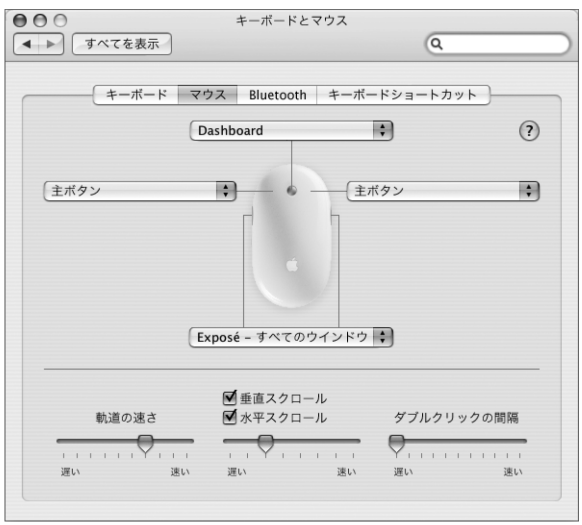


Mighty Mouse を設定する

Mighty Mouse は、「キーボードとマウス」環境設定の「マウス」パネルを使って、1 ボタンのマウスとして設定したり、マルチボタンのマウスとして設定することができます。

「キーボードとマウス」環境設定を開くには：

1. アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。
2. 「キーボードとマウス」をクリックし、「マウス」をクリックします。



「キーボードとマウス」環境設定の「マウス」パネルのポップアップメニューを使って、任意のボタンに次の操作を割り当てます：

- 主ボタンと副ボタンを割り当てる
- Exposé を起動する
- 「Dashboard」を表示する
- Spotlight を開く
- アプリケーションを切り替える
- アプリケーションを開く

縦方向と横方向のスクロールを無効にしたり、軌跡、スクロール、およびダブルクリックの速度を調節したりすることもできます。

Mighty Mouse についての詳しい情報

Mighty Mouse の設定と使用についての詳しい情報は、「Mac ヘルプ」で参照できます。「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「Mighty Mouse」を検索してください。

ディスプレイ、テレビ、映像装置を接続する

お使いの Power Mac G5 に複数のディスプレイを接続し、それらを同時に使用できます。また、テレビやビデオデッキなどの映像装置を接続することもできます。接続するディスプレイまたは装置ごとに適切なケーブルが必要です。

複数のディスプレイを接続する

追加のディスプレイを接続したときに、両方のディスプレイに同じイメージを表示（ミラーリング）したり、追加のディスプレイに Mac OS X デスクトップを拡張（拡張デスクトップモード）したりできます。

20 または 23 インチの Apple Cinema Display はいずれかの DVI ポートに、30 インチの Apple Cinema Display は DVI ポート 1 に接続できます。

複数のディスプレイを使用するには：

1. ディスプレイの電源を切り、コンピュータをシステム終了します。
2. 各ディスプレイとグラフィックカードのポートを、ビデオケーブルで接続します。
3. ディスプレイの電源を入れ、コンピュータを起動します。

ディスプレイを調節するには、アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択し、「ディスプレイ」をクリックします。デフォルトでは、コンピュータは拡張デスクトップモードで起動します。ミラーリングモードで使用するには、アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択し、「ディスプレイ」をクリックして、「ミラーリング」を選びます。

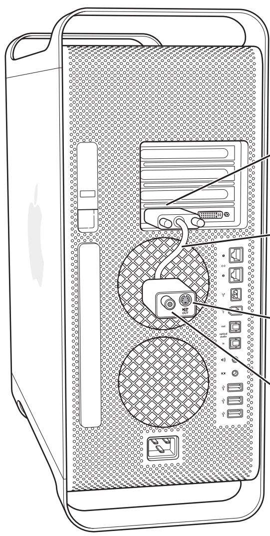
テレビ、ビデオデッキ、その他の映像装置を使用する

DVI-Video アダプタを使って、Power Mac G5 にテレビ、ビデオデッキ、プロジェクタなどの外部映像装置を接続できます。DVI-Video アダプタは、アップル製品取扱販売店、Apple Retail Store（Apple Store 直営店）、またはオンラインの Apple Store（www.apple.com/japanstore）で購入できます。

映像装置を接続するには：

1. 映像装置の電源を切り、コンピュータをシステム終了します。
2. DVI-Video アダプタの DVI 側の端を、Power Mac G5 グラフィックカードの TV 出力をサポートする DVI ポート（DVI ディスプレイポート 2）に接続します。
3. アダプタのもう一方の端をテレビ、ビデオデッキ、またはプロジェクタのコンポジット（RCA）ビデオポートか S ビデオポートに接続します。
4. テレビ、ビデオデッキ、またはプロジェクタの電源を入れ、コンピュータを起動します。

画像を調節するには、アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択し、「ディスプレイ」をクリックします。



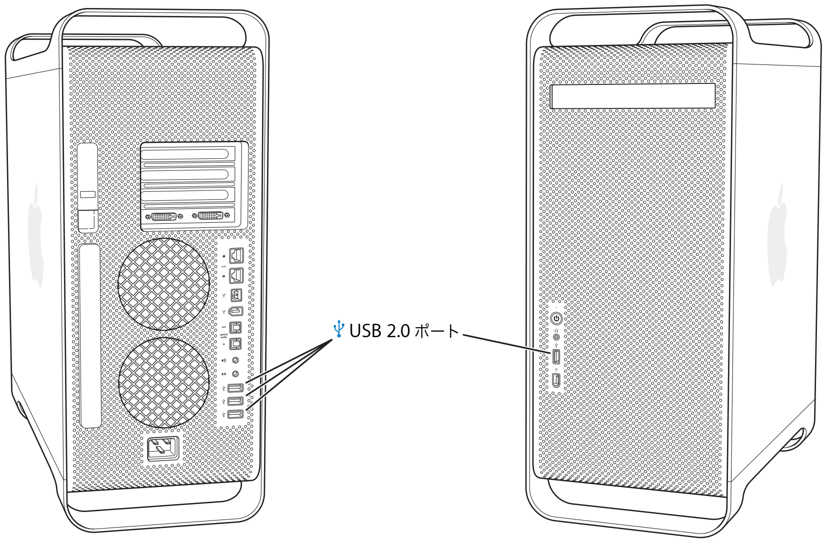
ディスプレイについての詳しい情報

ディスプレイを使用するにあたっての詳細情報は「Mac ヘルプ」で参照できます。「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「ディスプレイ」で検索してください。その他の情報については、次の場所を参照してください：

- ディスプレイの設定の調節については、アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択し、「ディスプレイ」をクリックしてください。
- ディスプレイの接続については、7 ページの設定に関する説明を参照してください。
- ディスプレイのトラブルシューティングについては、72 ページの「ディスプレイの問題」を参照してください。
- ディスプレイの保守については、86 ページの「ディスプレイの保守」を参照してください。

USB（Universal Serial Bus）を使用する

Power Mac G5 には、前面に 1 基、背面に 2 基の合計 3 基の USB 2.0 ポートが搭載されています。Apple Keyboard にも 2 基の USB 1.1 ポートがあります。これらの USB ポートを使用すると、プリンタ、スキャナ、デジタルカメラ、マイク、ゲームパッド、ジョイスティック、キーボード、マウス、記憶装置など、さまざまな種類の外部装置に接続することができます。USB によって外部装置への接続が簡単になります。USB 装置の多くは、コンピュータを再起動しなくても接続や取り外しができます。



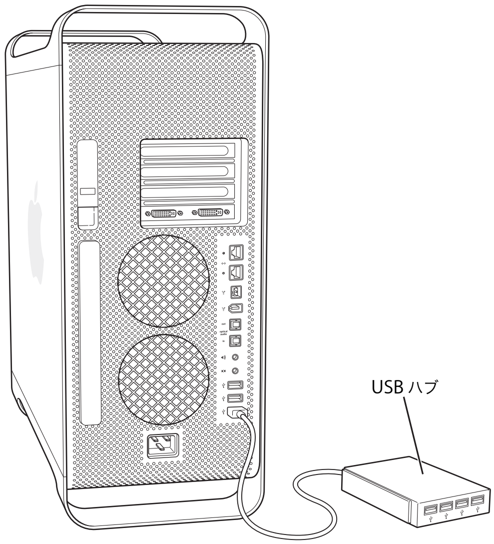
USB 装置を使用する

アップル製のコンピュータには、USB 装置を使用するためのソフトウェアがあらかじめインストールされています。ほとんどの場合、装置に付属するソフトウェアをインストールする必要はありません。USB 装置を接続しても、Power Mac G5 が適切なソフトウェアを検出できない場合は、装置に付属のソフトウェアをインストールするか、装置の製造元に問い合わせて適切なソフトウェアをダウンロードしてからインストールしてください。

複数の USB 装置を接続する

USB 装置を 4 台以上接続したい場合は、USB ハブを購入してください。USB ハブをコンピュータの空いているポートに接続すると、USB ポートを追加（通常 4 基または 7 基）できます。

参考：一部の USB 装置を使用するときに、電源が供給されている USB ハブが必要になる場合があります。



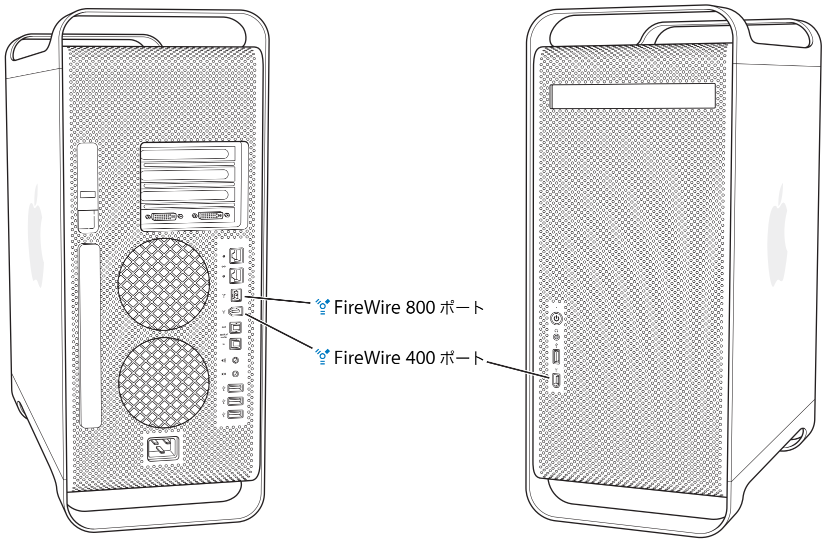
USB についての詳しい情報

USB についての詳細情報は「Mac ヘルプ」で参照できます。「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「USB」を検索してください。アップルの USB の Web サイトでも情報を参照できます：
www.apple.com/jp/usb

お使いのコンピュータで使用できる USB 装置についての情報は、Macintosh 製品ガイド（www.apple.com/jp/guide）を参照してください。

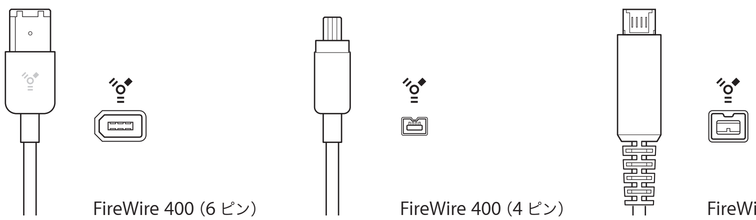
FireWire で接続する

FireWire は、デジタル・ミュージック・プレーヤー、DV カメラ、プリンタ、スキャナ、ハード・ディスク・ドライブなどの外部装置との接続／取り外しを簡単に行える高速データ転送システムです。FireWire 装置の接続や取り外しに、コンピュータを再起動する必要はありません。



お使いのコンピュータには、FireWire ポートが 3 基搭載されています。

- 前面と背面に 1 基ずつある FireWire 400 ポートでは、400 Mbps（メガビット／秒）までの最大データ転送速度がサポートされます。
- 背面に 1 基ある高速な FireWire 800 ポートでは、800 Mbps（メガビット／秒）までの最大データ転送速度がサポートされます。このポートには 9 ピンのコネクタがあり、4 ピン、6 ピン、または 9 ピンの FireWire 装置に接続できます。



FireWire 装置を使用する

FireWire を使って次のようなことができます：

- FireWire DV カメラと接続して、高品質ビデオを直接コンピュータに取り込み／転送をしたり、または高品質ビデオを直接コンピュータから取り込み／転送をしたりします。次に、「iMovie」のようなビデオ編集用ソフトウェアを使ってビデオを編集します。
- FireWire 対応の外部ハード・ディスク・ドライブと接続して、データのバックアップやファイル転送をします。Power Mac G5 にハード・ディスク・ドライブを接続すると、デスクトップにディスクドライブが FireWire のアイコンで表示されます。一部の FireWire ハード・ディスク・ドライブは FireWire ケーブルから電源の供給を受けるため、外部電源に接続する必要がありません。
- コンピュータ起動時やファイル転送時にコンピュータに問題が発生する場合は、FireWire を使って、お使いの Power Mac G5 をほかのコンピュータに接続します。そうすれば、Power Mac G5 がほかのコンピュータ上に外部ハードディスクとして表示されます（この機能を「FireWire ターゲット・ディスク・モード」といいます）。詳しくは、次の「FireWire ターゲット・ディスク・モード」を参照してください。

FireWire 装置を使用するには、装置をコンピュータに接続して、装置に付属のソフトウェアをインストールします。コンピュータに新しい装置を接続すると、自動的に検出されます。

Mac OS X がインストールされた FireWire ハードディスクから起動するには、アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択し、「起動ディスク」をクリックして、FireWire ハードディスクを選択します。

FireWire ハードディスクが表示されない、または選択できない場合は、FireWire ハードディスクの製造元に問い合わせて、最新のドライバソフトウェアを入手してください。

FireWire ハードディスクを安全に取り出すには、FireWire ハードディスクのアイコンを「ゴミ箱」にドラッグしてから、FireWire ケーブルを取り外します。

FireWire ターゲット・ディスク・モードを使用する

Power Mac G5 と FireWire に対応したほかのコンピュータとの間でファイルを転送する場合や、コンピュータの起動に関する問題が発生している場合は、FireWire ターゲット・ディスク・モードという機能を使って Power Mac G5 をほかのコンピュータに接続することができます。

参考：ほかのコンピュータが Mac OS X または FireWire のバージョン 2.3.3 以降がインストールされた Mac OS 9 を実行している場合、Power Mac G5 を FireWire ターゲット・ディスク・モードで動作させることができます。インストールされている FireWire のバージョンを確認するには、「システムプロファイラ」（「アプリケーション / ユーティリティ」にあります）を使用します。ほかのコンピュータに古いバージョンがある場合は、サービス＆サポートの Web サイト（www.apple.com/jp/support）でアップデートを確認してください。

Power Mac G5 を FireWire ターゲット・ディスク・モードで接続するには：

1. お使いの Power Mac G5 を終了します。
2. 両端に適切な6ピンまたは9ピンFireWireコネクタが付いているFireWireケーブルを使用して、お使いのコンピュータを FireWire に対応した別のコンピュータに接続します。

3 Power Mac G5 を起動し、すぐに T キーを押したままにします。

Power Mac G5 のディスプレイには FireWire ディスクモードのインジケータが表示され、別のコンピュータのデスクトップに Power Mac G5 の内蔵ハードディスクのアイコンが表示されます。

4 ファイルの転送が終了した後、別のコンピュータで Power Mac G5 のハードディスクアイコンを「ゴミ箱」にドラッグします。

5 Power Mac G5 のパワーボタンを押して、システムを終了します。

6 FireWire のケーブルを取り外します。

FireWire についての詳しい情報

FireWire について詳しくは、アップルの FireWire の Web サイト（www.apple.com/jp/firewire）を参照してください。「Mac ヘルプ」でも情報を調べることができます。「ヘルプ」>「Mac ヘルプ」と選択し、「FireWire」を検索してください。お使いのコンピュータで使用できる FireWire 装置についての情報は、Macintosh 製品ガイド（www.apple.com/jp/guide）を参照してください。

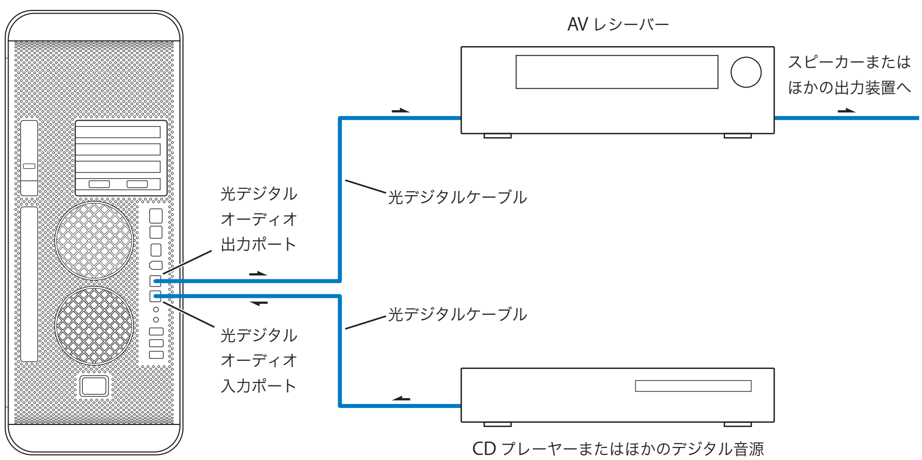
オーディオ装置を接続する

お使いの Power Mac G5 は、幅広いオーディオ機能を備えています。前面にはヘッドフォンジャックがあり、背面には光デジタルオーディオ出力、光デジタルオーディオ入力、アナログオーディオライン出力、アナログオーディオライン入力の各ポートがあります。

光デジタルオーディオポート

デジタル光ケーブルまたは Toslink ケーブルを使って、デジタルオーディオテープ（DAT）デッキや CD プレーヤーを光デジタルオーディオ入力ポートに接続し、独自の音楽をミックスすることができます。

また、オーディオまたは AV レシーバーを光デジタルオーディオ出力ポートに接続して、Power Mac G5 をベースとしたホームシアターシステムを構築することもできます。



ヘッドフォンジャック

コンピュータのヘッドフォンジャックには、ヘッドフォンを接続できます。プラグがこのジャックに差し込まれているとき、内蔵スピーカーは消音になります。

重要：ライン出力装置はヘッドフォンジャックに接続しないでください。代わりに、背面にあるアナログライン出力ポートを使用してください。

アナログオーディオポート

コンピュータの背面にあるアナログミニジャックには、外部マイクロフォンやその他のオーディオ装置を接続できます。使用したいオーディオ入力または出力装置を選択するときは、「システム環境設定」の「サウンド」パネルを使用します。

光学式ドライブを使用する

お使いの Power Mac G5 には、SuperDrive が搭載されています。光学式ドライブを使用すると、CD または DVD からソフトウェアをインストールしたり、実行したりすることができます。CD ディスク上のマルチメディアやオーディオ CD の音楽を再生したり、音楽、書類、およびその他のデジタルファイルを CD-R および CD-RW ディスクに書き込むことができます。また、DVD ムービーも再生でき、ほとんどの DVD ディスクを使用できます。

ホーム・ムービーを作成して、ほとんどの家庭用 DVD プレーヤーで再生できるビデオ DVD を作成できます。または「Finder」や「iDVD」を使用して書類やほかのデジタルファイルを未使用の DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、および DVD+R DL のディスクに保存できます。ほぼ 2 倍のデータ（8.54 GB）を DVD+R DL ディスクに保存できます。

参考：古いソフトウェアがフロッピーディスクで提供されている場合は、そのソフトウェアの CD を入手できるかどうかについてソフトウェアの製造元にお問い合わせください。または、Power Mac G5 用の外部 USB フロッピー・ディスク・ドライブをアップル製品取扱販売店、Apple Retail Store（Apple Store 直営店）、またはオンラインの Apple Store（www.apple.com/japanstore）でご購入ください。

ディスクをセットする

CD または DVD からプログラムをインストールしたり使用したりするには：

1 コンピュータの電源が入った状態で、Apple Keyboard のメディアイジェクト（⏏）キーを押して、ドライブを開きます。

2 ラベルを上にしてディスクをトレイに置きます。ディスクが水平になっていることを確認してください。

3 メディアイジェクト（⏏）キーを再度押すか、トレイを静かに押し込み、トレイを閉じます。

ディスクを示すアイコンが画面上に表示されたら、ディスクを使う準備は完了です。

ディスクを取り出す

ディスクを取り出すには、ディスクのアイコンを「ゴミ箱」にドラッグするか、Apple Keyboard のメディアイジェクト（⏏）キーを押します。また、コンピュータの再起動中にマウスボタンを押したままにしても、ディスクを取り出すことができます。

CD に情報を記録する

お使いの光学式ドライブでは、CD-R や CD-RW ディスクに、好きな音楽、プログラム、ファイルなどを記録することができます。オリジナルの音楽 CD を作成して、ほとんどの標準的なオーディオプレーヤーで再生することもできます。記録可能な CD には、アプリケーション、書類、その他のデジタルファイルなどのデータファイルを書き込むこともできます。

CD-R（CD-Recordable）ディスクには、1 回だけ情報を記録することができます。お使いのアプリケーションによっては、ディスクがいっぱいになるまで追加の情報を記録することもできます。ただし、いったん記録した情報を変更することはできません。CD-R ディスクへの記録に関する詳しい情報については、お使いのアプリケーションに付属する説明書を参照してください。お使いのオーディオ CD プレーヤーでは、CD-RW（CD-Rewritable）ディスクを読み取れないことがあるため、オーディオ CD を作成する場合には、CD-R ディスクをお使いになることをお勧めします。

CD-RW ディスクを使用する場合、1 枚のディスクに複数回、情報を保存したり変更したりすることができます。ただし、CD にメディアファイルを記録するソフトウェアの中には、ディスクに 1 回しかデータを記録できないものもあります。

iTunes ライブラリから CD-R ディスクに音楽を録音するには：

1 「Dock」で「iTunes」アイコンをクリックして、「iTunes」を開きます。

2 記録したいプレイリストを選択します。

3 未使用の CD-R ディスクを挿入します。

4 「iTunes」ウインドウの上部にある「CD を作成」をクリックします。

「iTunes」を使って音楽ファイルを CD に記録する方法については、「iTunes」のヘルプを参照してください。「iTunes」（「アプリケーション」にあります）を開き、「ヘルプ」＞「iTunes ＆ Music Store ヘルプ」と選択します。

Finder から CD-R ディスクにデータを記録するには：

1 未使用の CD-R ディスクを挿入します。

2 表示されたダイアログにディスクの名前を入力し、作成するフォーマットを選択します。デスクトップに CD のアイコンが表示されます。

3 CD のアイコンをダブルクリックしてから、ファイルとフォルダをそこにドラッグします。

4 「ファイル」＞「ディスクを作成」と選択するか、ディスクを選択して、「Dock」の「ディスクを作成」アイコンにそのディスクをドラッグします。

DVD に情報を記録する

独自のデジタルムービーを未使用の DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、または DVD+R DL ディスクに記録できます。ほかの種類のデジタルデータを記録することもできます（たとえば、ファイルを DVD へバックアップできます）。

未使用の DVD にデータを記録するには：

1 未使用の新しい DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、または DVD+R DL ディスクをドライブに挿入します。

2 表示されたダイアログにディスクの名前を入力し、作成するフォーマットを選択します。DVD のアイコンがデスクトップに表示されます。

3 DVD のアイコンをダブルクリックして、ファイルとフォルダをそこにドラッグします。

4 「ファイル」＞「ディスクを作成」と選択するか、ディスクを選択して、「Dock」の「ディスクを作成」アイコンにそのディスクをドラッグします。

「iDVD」や「DVD Studio Pro」などのアプリケーションを使用して独自の DVD プロジェクトを作成し、未使用の DVD-R ディスクに書き込めば、ほとんどの標準的な DVD プレーヤーで再生できます。

「iDVD」の使いかたについて詳しくは、「iDVD」（「アプリケーション」にあります）を起動し、「ヘルプ」＞「iDVD ヘルプ」と選択してください。

Ethernet ネットワークに接続する

お使いのコンピュータには、ジャンボフレームに対応した内蔵ギガビット Ethernet ポートが 2 つ装備されています。どちらのポートも、ネットワーク、ケーブルモデム、または DSL（Digital Subscriber Line）モデムへの接続に使用できます。カテゴリ（Cat）5e の Ethernet ケーブルを使って、ほとんどのネットワークおよびサーバに接続できます。

ネットワークに接続すれば、ほかのコンピュータにアクセスできます。情報をほかのコンピュータに保存したり、ほかのコンピュータに保存されている情報を入手したり、ネットワークに接続されているプリンタを利用したり、メールを送受信したり、インターネットに接続したりすることができます。また、Ethernet を利用すれば、2 台のコンピュータでファイルを共有したり、小規模のネットワークを構築したりすることもできます。

既存のネットワークに接続している場合、ネットワークおよび必要なネットワークソフトウェアについての情報を、ネットワークを管理しているネットワーク管理者から入手してください。ネットワークにコンピュータを接続する前に、ネットワーク管理者に確認してください。

ツイストペア型 Ethernet ネットワークに接続する

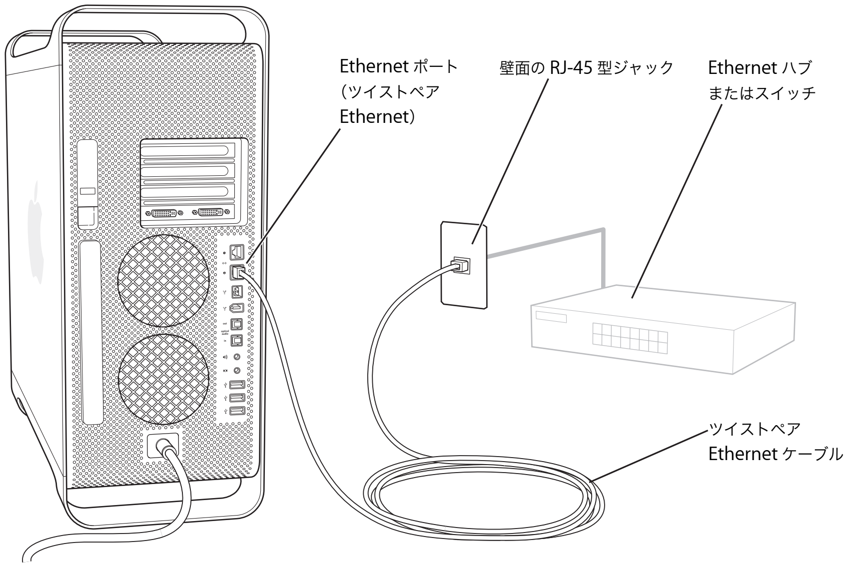
直接、10/100/1000 ツイストペア型 Ethernet ネットワークに接続できます。

参考：お使いのコンピュータを同軸ケーブルを利用した Ethernet ネットワークに接続することもできます。同軸ケーブルを利用した Ethernet ネットワークへの接続には、他社製の RJ-45 ／同軸アダプタが必要です。Ethernet 関連機器については、アップル製品取扱販売店にお問い合わせください。

Macintosh を Ethernet ネットワークに接続するには：

1 RJ-45型のコネクタが付いたツイストペアケーブルの一端を、お使いのMacintoshのEthernetポートに接続します。

2 ツイストペアケーブルのもう一端を、壁などにある RJ-45 型のモジュラージャック、または、ツイストペアケーブルを利用した Ethernet ネットワークに接続されている外部 Ethernet ハブまたは Ethernet スイッチに接続します。



Power Mac G5 を起動した後、ネットワークを利用できるようにソフトウェアを設定します。設定に必要な情報については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。「Mac ヘルプ」で情報を参照することもできます（「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択してください）。

ネットワークを設定するには、以下の手順に従ってください：

1 アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択し、「ネットワーク」をクリックします。

2 「表示」ポップアップメニューから「内蔵 Ethernet」を選択します。

3 「TCP/IP」をクリックし、ネットワークに関する情報を入力します。（デフォルトでは、「設定」：「DHCP サーバを参照」に設定されています。）

4 「今すぐ適用」をクリックします。

複数のネットワークに接続する

複数のネットワークに接続したい場合は、両方の Ethernet ポートを使用できます。たとえば、一方のポートを使って公開ネットワークに接続し、もう一方のポートを使ってプライベートネットワークに接続します。ネットワークごとに Ethernet ケーブルが必要になります。

Macintosh を複数のネットワークに接続するには：

1. 各 Ethernet ケーブルの一端を、お使いの Macintosh の Ethernet ポートに接続します。
2. 各 Ethernet ケーブルのもう一端を各ネットワークの Ethernet ポートに接続します。
3. 38 ページの指示に従って、各ポートのネットワーク設定を行います。

参考：ネットワーク設定を行うときは、適切な Ethernet ポートを設定していることを確認してください。

Ethernet についての詳しい情報

Ethernet ネットワークの設定方法や Ethernet を使用したファイル転送など、詳しい情報は、「Mac ヘルプ」で参照できます。「ヘルプ」>「Mac ヘルプ」と選択し、「Ethernet」か「ネットワーク」を検索してください。

お使いの Power Mac G5 をネットワークに接続する方法について詳しくは、サービス＆サポートの Web サイト（www.apple.com/jp/support）を参照してください。

お使いの Power Mac G5 で使用できるネットワーク製品についての情報は、Macintosh 製品ガイド（www.apple.com/jp/guide）を参照してください。

AirMac Extreme ワイヤレスネットワークについて

AirMac は、家庭、オフィス、または教室の中で、簡単かつ手頃な価格によるワイヤレスなインターネットアクセスを提供します。Power Mac G5 と一緒に AirMac Extreme テクノロジー（WiFi または 802.11b/g とも呼ばれます）を購入した場合は、AirMac はすでに取り付けられています。

参考：Power Mac G5 に AirMac Extreme テクノロジーが装備されていない場合は、アップル正規サービスプロバイダに取り付けを依頼するか、または Apple Retail Store（Apple Store 直営店）で取り付けることができます。

従来のケーブルの代わりに、AirMac ではワイヤレス LAN（Local Area Network）のテクノロジーを使って、複数のコンピュータ間でのワイヤレス通信が可能です。ワイヤレスのネットワークを介して、インターネットへのアクセスの設定、ファイル転送、マルチプレーヤーによるゲームなどを行うことができます。

ワイヤレスネットワーク接続について

AirMac Extreme テクノロジーでは、次のことができます：

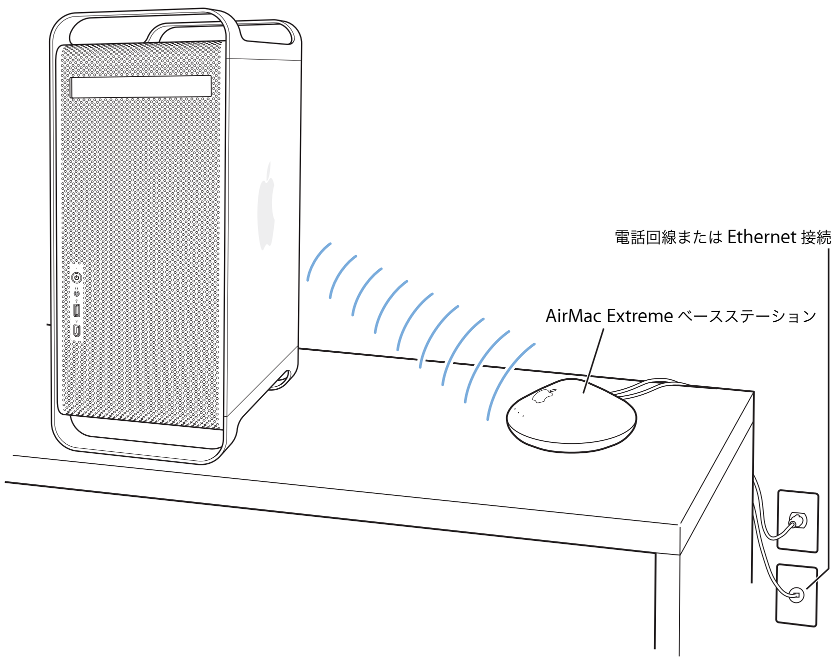
- ワイヤレス接続に対応したネットワークに Power Mac G5 を接続する
- ワイヤレスカードを使用するほかのコンピュータにネットワーク接続を提供する
- AirMac カード、802.11b ワイヤレスカード、または 802.11g ワイヤレスカードを搭載しているほかのコンピュータとワイヤレス接続を確立し、情報を共有する

参考：ネットワークにワイヤレス接続するためのアクセスポイントへの接続方法については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

AirMac がワイヤレスインターネット接続を提供するしくみ

AirMac では、ベースステーションと呼ばれる装置との間でワイヤレス通信が行われます。ベースステーションは物理的にインターネットに接続されます。AirMac テクノロジーは、コードレス電話のしくみに似ています。コードレス電話の子機は、電話回線に接続されている親機へのワイヤレスな接続を確立します。同様に、お使いのコンピュータは電話回線や Ethernet ネットワークに接続されたベースステーションへのワイヤレスな接続を確立します。

参考：お使いの Power Mac G5 に装備されている AirMac Extreme テクノロジーは、すべてのバージョンの AirMac ベースステーションと互換性があります。



重要：コンピュータの近くにあるいろいろなものがワイヤレス通信の妨げ（干渉の原因）になることがあります。干渉を避ける方法について知りたいときは、AirMac Express または AirMac Extreme ベースステーションに付属のマニュアルを参照してください。詳しくは、サービス＆サポートの Web サイト（www.apple.com/jp/support）を参照してください。

AirMac についての詳しい情報

AirMac Express または AirMac Extreme ベースステーションを購入するときは、アップル製品取扱販売店、Apple Retail Store（Apple Store 直営店）、またはオンラインの Apple Store（www.apple.com/japanstore）を利用してください。

AirMac について詳しくは、「Mac ヘルプ」で「AirMac」を検索してください。詳細情報は、アップルの AirMac の Web サイト（www.apple.com/jp/airmac）も参照してください。

Bluetooth 2.0+EDR ワイヤレステクノロジーを使用する

お使いの Power Mac G5 では、Bluetooth® 2.0+EDR（Enhanced Data Rate）ワイヤレステクノロジーを使って、携帯電話、PDA、プリンタ、Apple Wireless Keyboard や Apple Wireless Mouse（アップル製品取扱販売店、Apple Retail Store（Apple Store 直営店）、またはオンラインの Apple Store（www.apple.com/japanstore）から入手できます）など、Bluetooth® ワイヤレステクノロジーを使う装置と接続して情報をやり取りできます。Power Mac G5 と一緒に Bluetooth テクノロジーも購入した場合は、Bluetooth はすでに取り付けられています。

参考：Power Mac G5 に Bluetooth テクノロジーが装備されていない場合は、アップル正規サービスプロバイダに取り付けを依頼するか、または Apple Retail Store（Apple Store 直営店）で取り付けることができます。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーを利用すると、これまでのように多くのケーブルで装置を接続する必要がなくなります。Bluetooth に対応した装置は、最大 10 メートル（33 フィート）離れた距離でワイヤレス接続することができます。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーによって、次のような操作が可能です：

- Bluetooth ワイヤレスキーボード、マウス、プリンタ、またはヘッドセットを使用する。
- お使いの Power Mac G5 と Bluetooth 対応の PDA または携帯電話との間でデータを同期する。HotSync 操作を実行したり、名刺、アドレスブック、またはカレンダーを同僚の PDA や携帯電話に直接送信したりできます。
- Bluetooth 対応のコンピュータや装置との間でファイルを交換する（Mac と PC との間でも可能）。ただし、サイズの小さなファイル以外は、AirMac Extreme ワイヤレスネットワークを使って転送することをお勧めします。

Bluetooth デバイスを設定する

Bluetooth 対応デバイスを Power Mac G5 で使用する前に、デバイスをコンピュータで使用できるように設定する必要があります。デバイスを設定すると、デバイスはお使いのコンピュータに「登録」され、「Bluetooth」環境設定の「デバイス」パネルにそのデバイスが表示されます。デバイスをコンピュータに登録する必要があるのは一度だけです。登録情報は、登録を解除するまで保持されます。

Bluetooth デバイスを設定するには：

1. メニューバーの「Bluetooth」ステータスメニュー（✱）から「Bluetooth デバイスを設定」を選択します。
2. 設定するデバイスの種類用の画面に表示される指示に従います。

重要：「Bluetooth」ステータスメニュー（✱）がメニューバーにない場合は、「システム環境設定」を開き、「Bluetooth」をクリックします。「設定」をクリックし、メニューバーで「Bluetooth の状況をメニューバーに表示」を選択します。

デバイスの登録を削除するには：

1. 「システム環境設定」を開き、「Bluetooth」をクリックします。
2. 「デバイス」をクリックし、リストでデバイスを選択します。
3. 「登録を削除」をクリックします。

Bluetooth ファイル交換を設定する

Bluetooth デバイス間で交換されるファイルの処理方法を制御することができます。次の動作を制御できます：

- コンピュータに送信されたファイルを受け入れるかどうか
- ほかのデバイスから受け入れるファイルのためにどのフォルダを使用するか
- ほかのデバイスがどのフォルダをブラウズできるか
- 受け入れたファイルでどのアプリケーションを使用するか

Bluetooth ファイル交換を設定するには：

1. 「システム環境設定」を開き、「Bluetooth」をクリックします。
2. 「共有」をクリックします。
3. 「Bluetooth ファイル交換」の「入」チェックボックスを選択し、ポップアップメニューを使用して設定を調整します。

参考：ファイル交換のトランザクションを保護するために、ファイルを転送する前にパスワード認証を要求するには、「セキュリティのために登録を必須にする」チェックボックスを選択します。

Bluetooth デバイスにファイルを送信する

お使いのコンピュータから通信範囲にあるほかの Bluetooth デバイスにファイルを送信できます。お使いのコンピュータにデバイスが登録されていない場合は、ファイルを送信する前に認証が必要になることがあります。お使いのコンピュータにデバイスがすでに登録されている場合は、認証を再度行う必要はありません。

Bluetooth デバイスにファイルを送信するには：

1. 「Bluetooth」ステータスメニュー（✻）＞「ファイルを送信」と選択します。
2. 送信したいファイルを選択して、「送信」をクリックします。
3. 「デバイス」リストからデバイスを選択して、「送信」をクリックします。

デバイスが「デバイス」リストにない場合は、「検索」をクリックします。見つかったデバイスは、「よく使う項目」リストに追加できます。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーについての詳しい情報

お使いのコンピュータに Bluetooth モジュールが内蔵されている場合は、ヘルプを参照できます。このヘルプを参照するには、「Bluetooth ファイル交換」アプリケーション（「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」フォルダにあります）を開き、「ヘルプ」＞「Bluetooth ヘルプ」と選択します。アップルの Web サイトでも情報を参照できます：www.apple.com/jp/bluetooth

参考：Power Mac G5 と一緒に Bluetooth テクノロジーを購入しなかった場合は、アップル正規サービスプロバイダに取り付けを依頼するか、または Apple Retail Store（Apple Store 直営店）で取り付けることができます。また、外付けの Bluetooth USB アダプタをアップル製品取扱販売店、Apple Retail Store（Apple Store 直営店）、またはオンラインの Apple Store（www.apple.com/japanstore）で購入することもできます。

2 台の Macintosh コンピュータ間で情報を転送する

2 台の Macintosh コンピュータが、Ethernet、AirMac、または Bluetooth ネットワークで接続されていない場合でも、標準のカテゴリ 5 規格に準拠した Ethernet ケーブルを使って接続すれば、情報を転送することができます（つまり、2 台のコンピュータで小規模なネットワークを構築します）。Ethernet ケーブルはアップル製品取扱販売店から購入することができます。各コンピュータの Ethernet ポートをケーブルで接続し、両方のコンピュータでファイル共有を有効にします。また、2 台のコンピュータの Ethernet 設定を利用して、小規模なネットワークを構築することもできます。

まず、2 台のコンピュータで「ファイル共有」を有効にします：

1. アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。
2. 「共有」をクリックし、次に「開始」をクリックします。

次に、一方のコンピュータで、以下の手順に従って操作します：

1. 「移動」＞「サーバへ接続」と選択します。
2. 「ローカルネットワーク」をクリックします。
3. アクセス先のコンピュータを選択します。

Ethernet の設定について詳しくは、「Mac ヘルプ」で「Ethernet」を検索してください。

AirMac または Bluetooth ワイヤレスネットワークの場合も、2 台の Macintosh コンピュータ間で情報を転送することができます。AirMac または Bluetooth ワイヤレスネットワークについて詳しくは、「Mac ヘルプ」で「AirMac」または「Bluetooth」で検索して参照してください。

FireWire ケーブルを使って 2 台の Macintosh コンピュータを接続することもできます。FireWire ターゲット・ディスク・モードを使って、コンピュータ間でファイルを転送できます。詳しくは、33 ページの「FireWire ターゲット・ディスク・モードを使用する」を参照してください。

お使いのコンピュータを、IP（Internet Protocol）を使用して FireWire を介してほかのコンピュータに接続するように設定できます。詳しくは、「Mac ヘルプ」で「FireWire で IP を使用する」を検索してください。

インターネットに接続されている場合は、インターネットを経由して .Mac の iDisk にファイルを転送できます。.Mac ユーザであればファイルを iDisk からダウンロードできます。

コンピュータの内部を扱う作業

4

この章の情報を使用して、Power Mac G5 を必要に応じてカスタマイズおよび拡張できます。

この章には、コンピュータの内部を扱う作業についての情報と説明が記載されています。以下のセクションの構成で重要な手順について説明します：

- 46 ページの「コンピュータのカバーを開く」
- 51 ページの「メモリを取り付ける」
- 57 ページの「内蔵型記憶装置を取り付ける」
- 65 ページの「PCI Express カードを追加する」
- 68 ページの「内部バックアップバッテリーを交換する」

警告：アップルでは、メモリや PCI Express カード、内蔵型の記憶装置の取り付けを、アップル正規サービスプロバイダに依頼することをお勧めします。連絡先などは、付属のサービスとサポートに関する資料に記載されています。これらの装置を自分で取り付ける場合、装置が故障する可能性があります。また、自分で取り付け作業を行った場合、装置が故障しても製品保証は適用されません。製品保証について詳しくは、アップル製品取扱販売店またはアップル正規サービスプロバイダにお問い合わせください。

コンピュータのカバーを開く

1 コンピュータのカバーを開く前に、アップル（）メニュー＞「システム終了」を選択してコンピュータの電源を切ります。

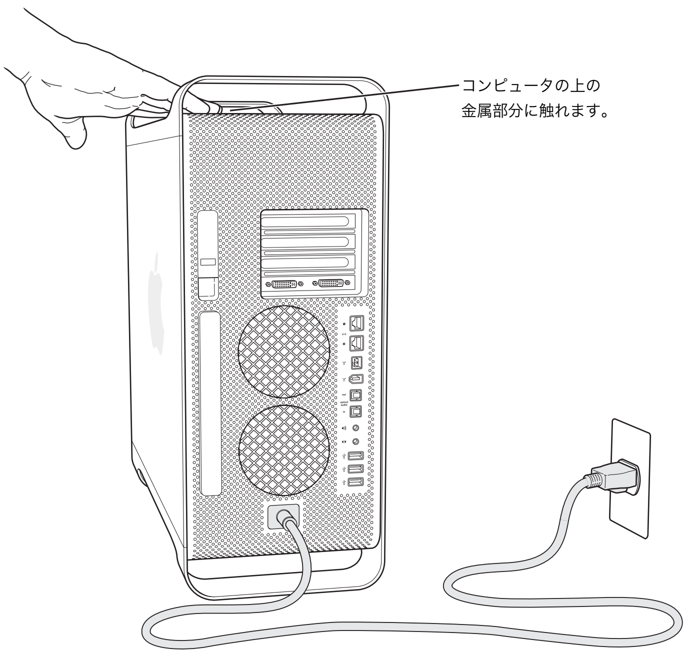
警告：内部の部品や取り付ける部品に損傷を与えないようにするため、Power Mac G5 のカバーを開く前に、必ずコンピュータの電源を切ってください。コンピュータの電源が入っているときは、カバーを開いたり、内部に部品を取り付けたりしないでください。

2 電源を切ったら 5 〜 10 分ほど放置して、コンピュータ内部の部品が冷めるのを待ちます。

警告：コンピュータの電源を切った後は、内部の部品が非常に熱くなっている可能性があります。コンピュータを冷ましてから次の作業を続けてください。

3 体から静電気を除去するために、Power Mac G5 の外部にある金属部分に触れます。

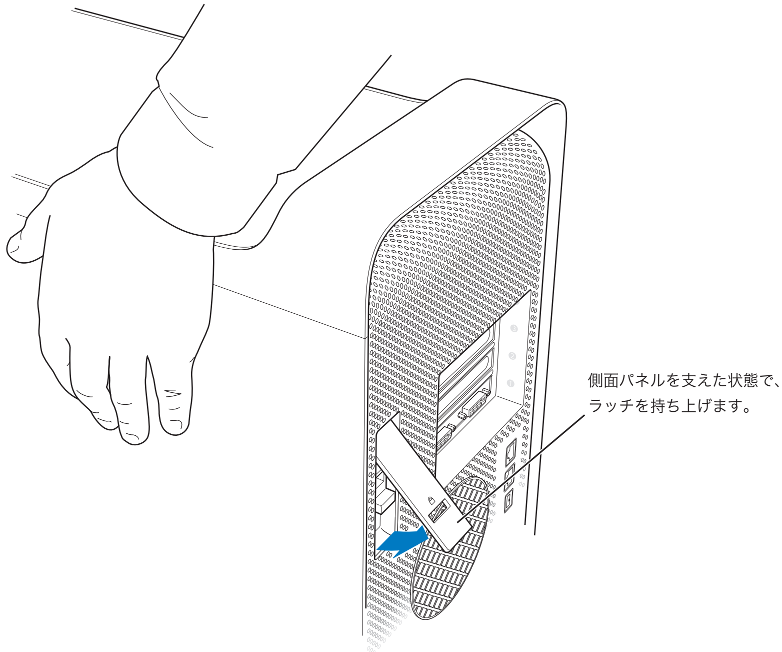
重要：コンピュータ内部の部品に触れるときや、内部に部品を取り付けるときは、必ず事前にこの部分に触れて、静電気を除去してください。また、静電気の発生を防ぐため、カードやメモリ、内蔵型の記憶装置、バッテリーの取り付けを終えてカバーを閉じるまでは、部屋の中を歩き回らないでください。



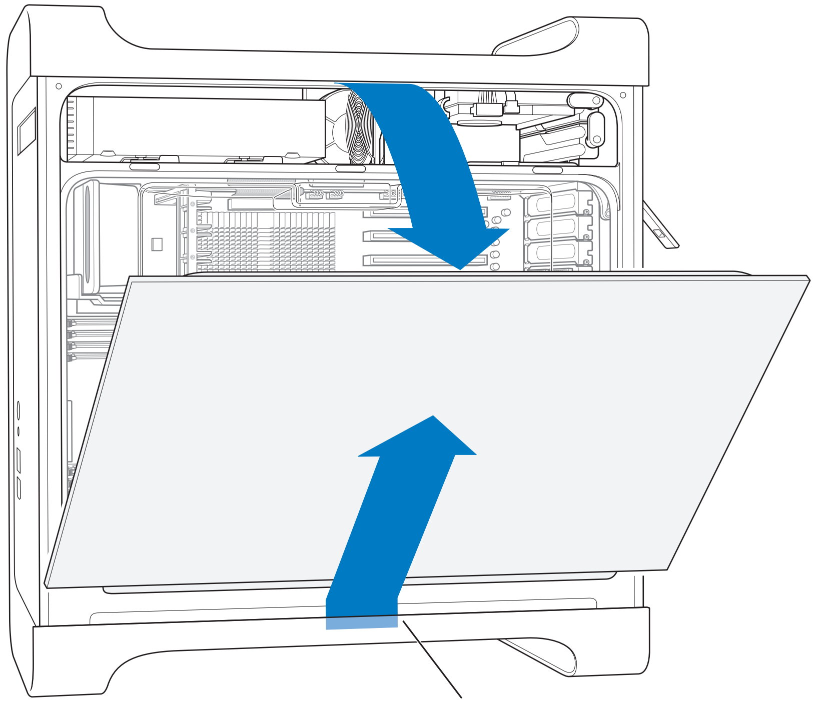
4 コンピュータからすべてのケーブルと電源コードを取り外します。

> **警告：**内部の部品や取り付ける部品に損傷を与えないようにするため、必ず Power Mac G5 の電源プラグを抜いてください。コンピュータの電源コードが接続されているときは、内部に部品を取り付けたりしないでください。

5 側面パネルを持ち、コンピュータの背面にあるラッチを持ち上げます。側面パネルを取り外します。



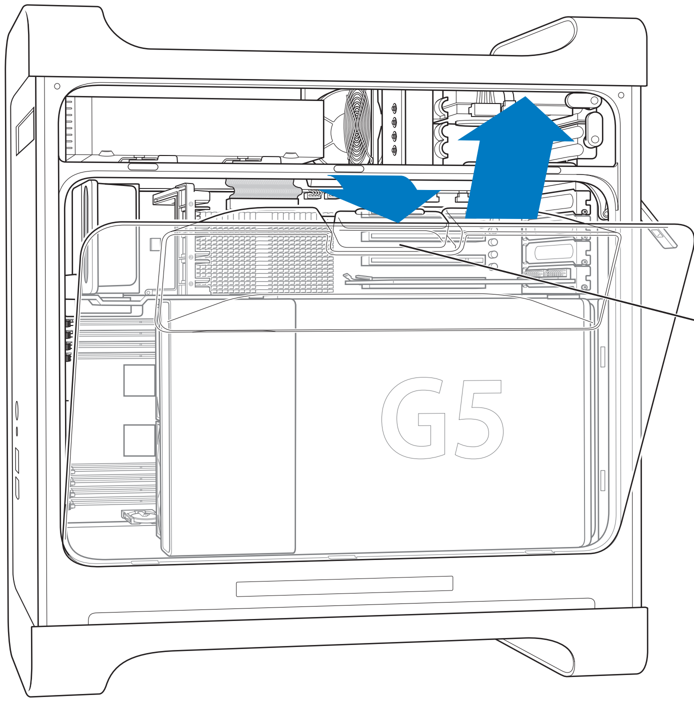
6 側面パネルを取り外します。



重要：側面パネルを取り外すときは、しっかりと持つようにしてください。

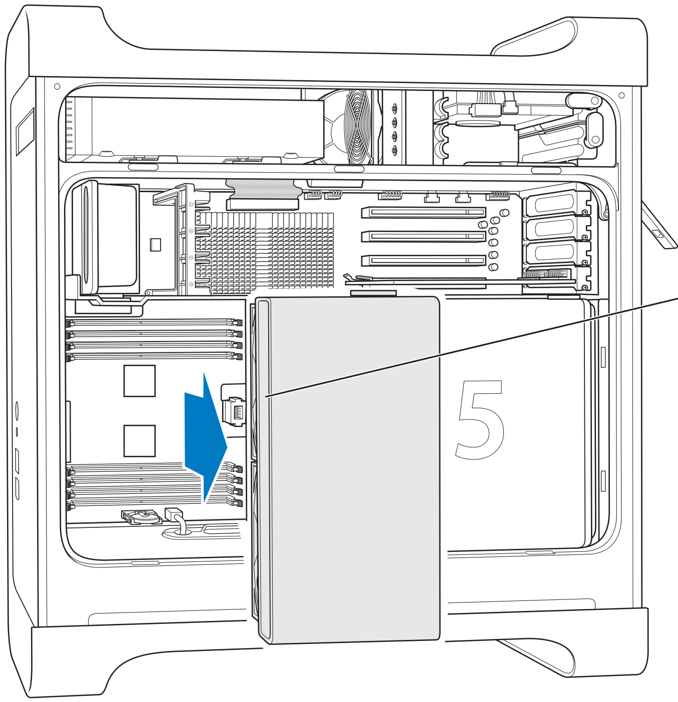
7 エアディフレクタを取り外して、柔らかくて清潔な布の上に置きます。

重要：コンピュータの内部を扱う作業が終わったら、エアディフレクタを忘れずに元の位置に戻してください。エアディフレクタが所定の位置にないと、コンピュータは正しく機能しません。



8 前面ファン部を引いて、コンピュータから取り外し、ファン部はそばに置いておきます。

重要：ファン部を取り外すときに、ファン部の最上部の金属製の仕切板でいくらか抵抗がかかる場合があります。ファン部を引いてこの仕切板からやや離すと、簡単に取り外せます。



参考：光学式ドライブ、ハード・ディスク・ドライブ、または PCI Express カードの装着や交換を行うときは、前面ファン部を取り外す必要はありません。

メモリを取り付ける

お使いの Power Mac G5 には 8 基のメモリスロットが付いています（2 つのバンクにそれぞれ 4 基のスロット）。DIMM（Dual Inline Memory Module）と呼ばれるパッケージに入った SDRAM（Synchronous Dynamic Random-Access Memory）をメモリスロットに増設できます。お使いのコンピュータには、最低 512 MB の RAM（Random Access Memory）が、2 基の DIMM スロットにペアで装着された 256 MB DIMM として付属しています。空いている DIMM スロットに、DIMM のペアを追加で取り付けることができます。

DIMM は、以下の仕様に適合し、サイズが同じものをペアで取り付ける必要があります：

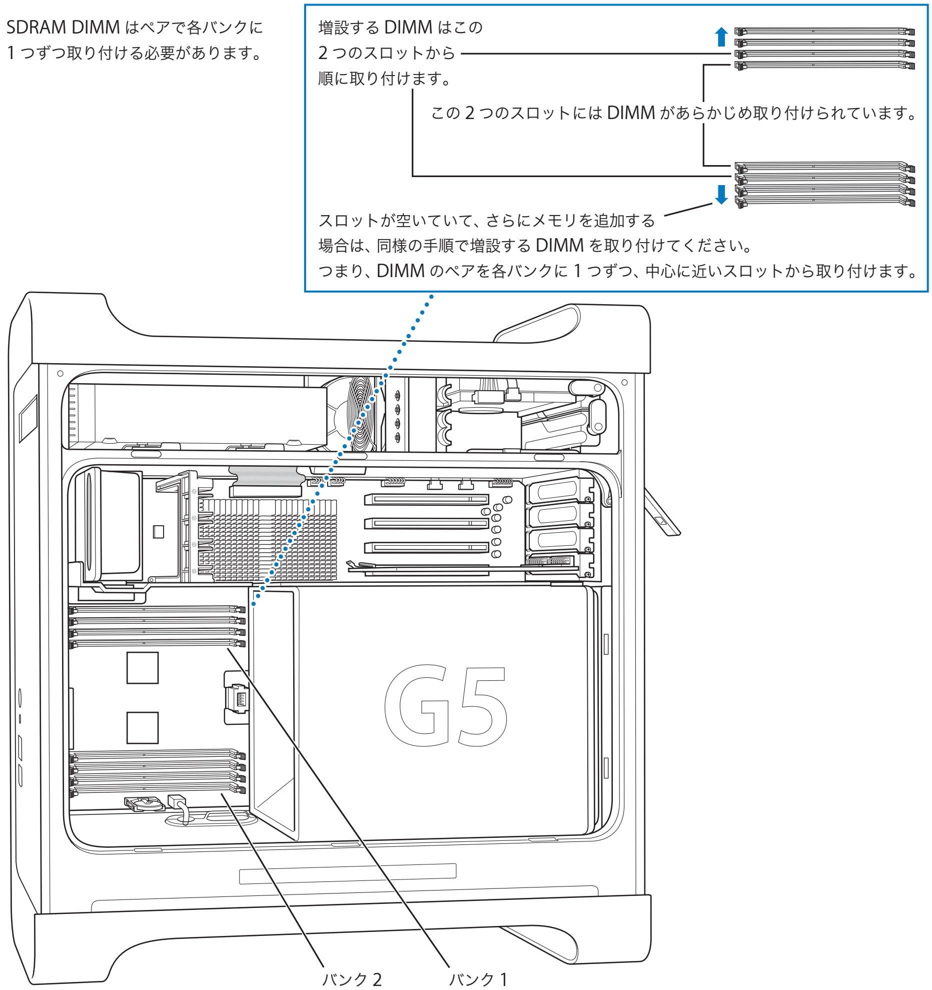
- PC2-4200、533 MHz、DDR2（Double-Data-Rate 2）DIMM（DDR2-533 ともいいます）
- 64 ビット幅、240 ピンモジュール
- DIMM 当たり最大 18 のメモリ装置
- JEDEC 仕様に準拠（下記参照）
- パリティなし
- エラー訂正コード（ECC）またはエラー訂正コードなし（NECC）のモジュール。1 つのペアに ECC と NECC のメモリモジュールを混在させないでください。
- バッファなし（レジスタ付きやバッファ付きは使用できません）
- 高さは最大 31.75 mm（1.25 インチ）

重要：古い Macintosh コンピュータで使われていた DIMM は、お求めの Power Mac G5 と互換性がなく、適合しません。

参考：Macintosh コンピュータで使用する DIMM を購入するときは、メモリの製造元が JEDEC（Joint Electron Device Engineering Council）仕様に準拠していることを確認してください。メモリの製造元に問い合わせて、JEDEC 仕様の説明にある通り、DIMM が正しいタイミングモードをサポートしていること、SPD（Serial Presence Detect）機能が正しくプログラムされていることを確認してください。お使いの DIMM の互換性を確認するには、アップルの Web サイトにある「Macintosh 製品ガイド」（www.apple.com/jp/guide）を参照してください。Apple Store（www.apple.com/japanstore）からオンラインでアップル製メモリを購入することもできます。

メモリを取り付けるには：

1 コンピュータのカバーを開けて、46 ページ以降の指示に従って側面パネル、エアディフレクタ、およびファン部を取り外します。



2 コンピュータの DIMM スロットを探します。

重要：DIMM は、必ずサイズと仕様が同じものをペアで、上の図に示した順に取り付けてください。

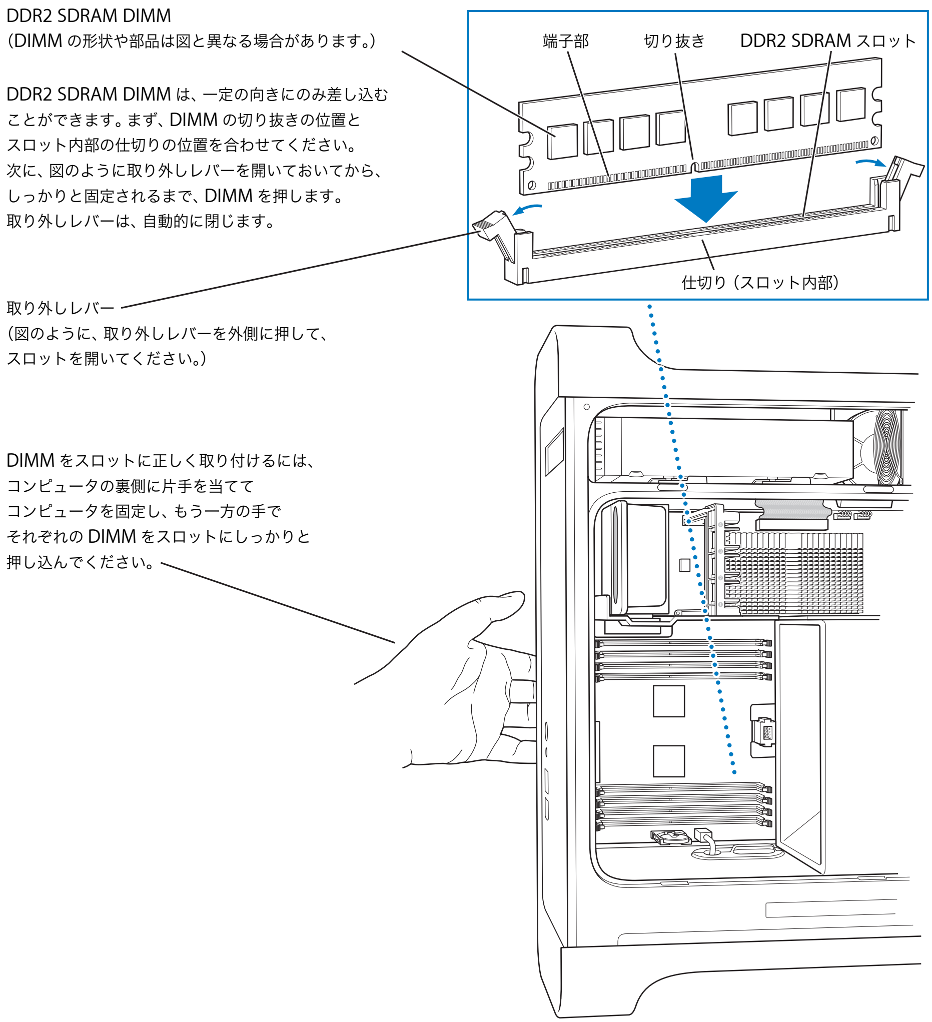
3 DIMM スロットの取り外しレバーを外側へ押して、スロットを開きます。

重要：DIMM の端子部には触らないでください。DIMM は、縁の部分だけを持って取り扱ってください。

4 片手をコンピュータの背面に当てて支え、最初の DIMM の位置と向きをスロットに合わせてから、タブが垂直になり、取り外しレバーが所定の位置に固定されるまで、DIMM の両端を下に押します。

参考：お使いの Power Mac G5 を横にすると、簡単にメモリを取り付けることができます。柔らかくて清潔な布を机または作業面の上に置いて、作業面や Power Mac G5 に傷が付かないようにしてください。

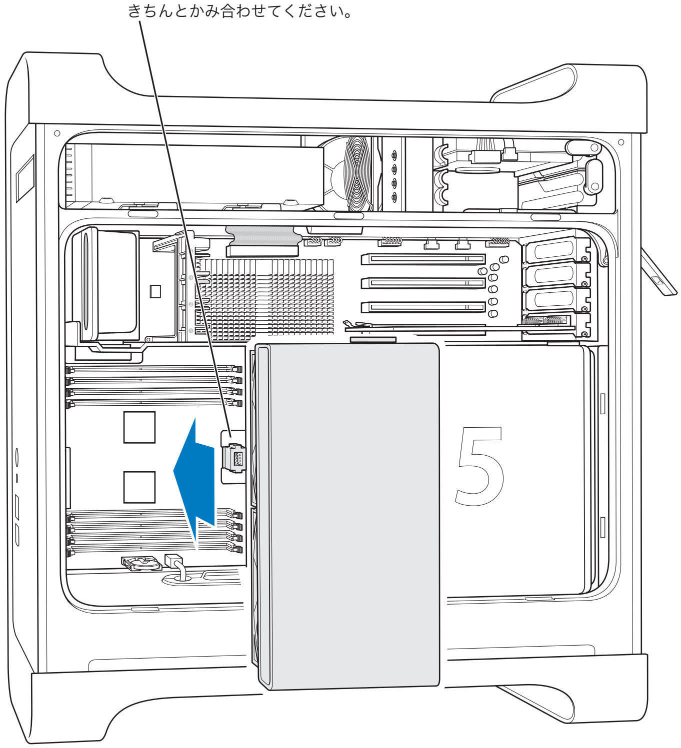
5 2 番目の DIMM の位置と向きを反対側のスロットに合わせてから、取り外しレバーが所定の位置に固定されるまで押します。



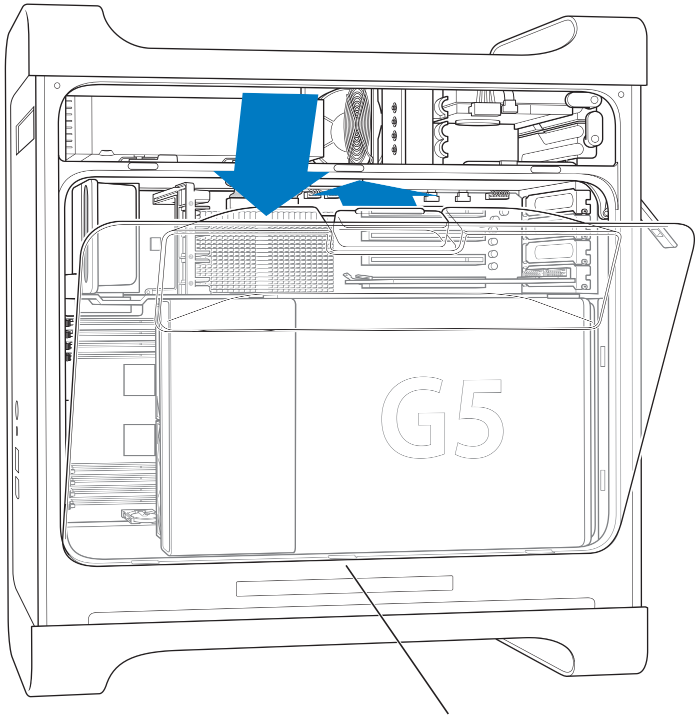
6 前面ファン部のハンドルを持ってコンピュータの元の位置に戻し､接続されるまでしっかり押します。

重要：図に示すように、ファン部が最上部の仕切板にスライドし、コネクタとかみ合っていることを確認してください。かみ合っていないと、コンピュータは正しく動作しません。ファン部を軽く引いて、ファン部が正しく接続されていることを確認してください。ファン部が所定の位置から動かなければ、正しく接続されています。

コンピュータの内部にある金属製の仕切板の
切り抜きにファン部のプラスチックレールを合わせ、
スライドさせます。ファン部とこのコネクタを
きちんとかみ合わせてください。



7 エアディフレクタを元の位置に戻します。

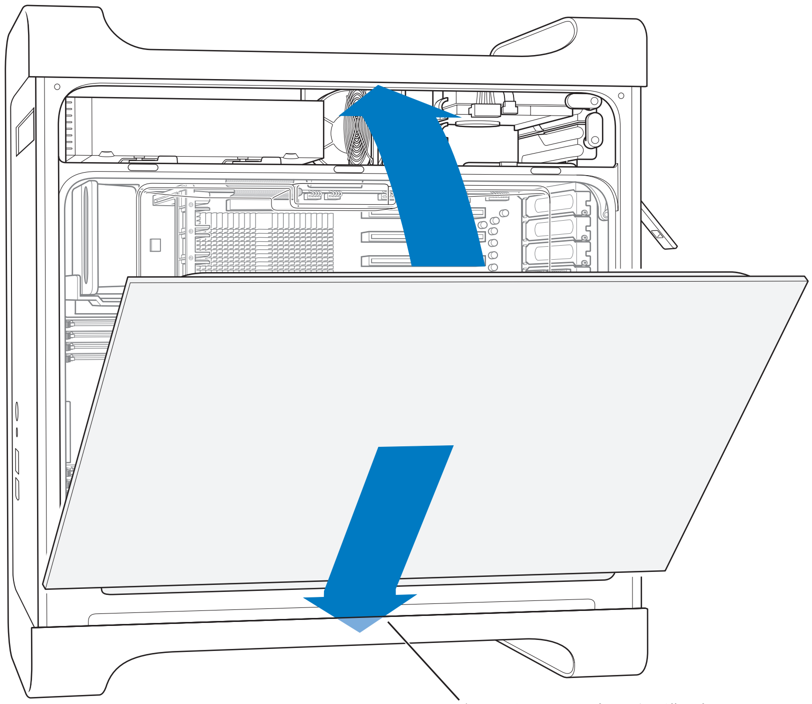


エアディフレクタの 3 つのツメをコンピュータの溝穴に
はめ込み、エアディフレクタを押して閉じます。

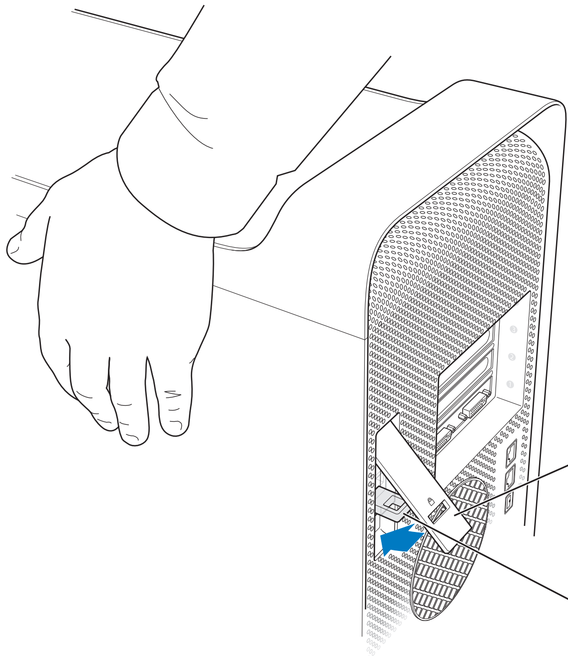
重要：エアディ フレクタは忘れずに元 の位置に戻してくださ い。エアディフレクタが所 定の位置に ないと、コンピュータは正しく機能しません。

8 側面パネルを元の位置に戻します。

重要：コンピュータを起動する前に、必ず側面パネルを元の位置に戻してください。側面パネルが所定の位置にないと、コンピュータは正しく機能しません。



9 ラッチを押し下げ、側面パネルを閉じて固定します。



重要：側面パネルを元に戻すときは、ラッチを押し下げる際に側面パネルが所定の位置から動かないようにしっかり押さえてください。

内蔵型記憶装置を取り付ける

お求めの Macintosh には、内蔵型ドライブベイが 3 つ装備されています：1 つは光学式ドライブベイで、2 つはハード・ドライブ・ベイです。多くの構成では、1 台のハード・ディスク・ドライブが上段のハード・ドライブ・ベイに、1 台の光学式ドライブが前面の光学式ドライブベイに収容されています。

ハード・ドライブ・ベイの空いているスロットに、シリアル ATA ハード・ディスク・ドライブを追加できます。お求めのコンピュータに取り付けることができるのは、以下の仕様を満たすドライブです：

- タイプ：シリアル ATA
- 幅：102 mm（3.9 インチ）
- 奥行き：147 mm（5.7 インチ）
- 高さ：25 mm（1.0 インチ）

動作条件や対応する装置について詳しくは、アップル製品取扱販売店に問い合わせるか、サービス＆サポートの Web サイト（www.apple.com/jp/support）を参照してください。

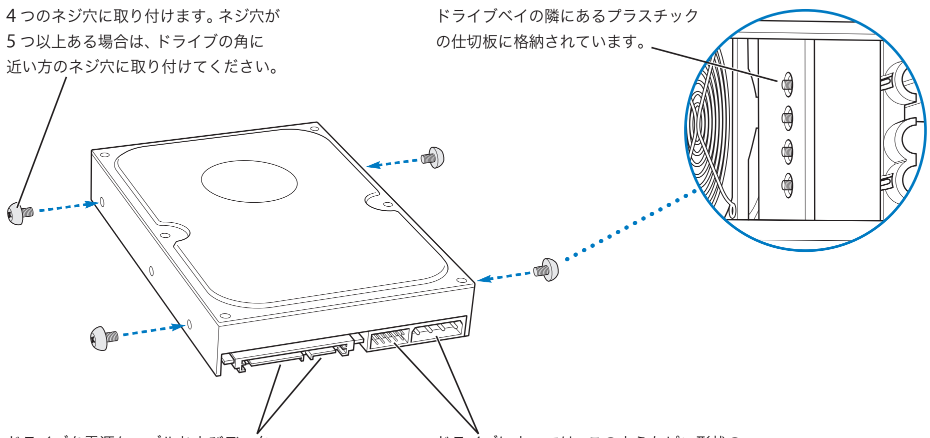
重要：光学式ドライブまたはシリアル ATA ハード・ディスク・ドライブの取り付けや交換を行うときは、お求めの Power Mac G5 に同梱されているアップル製のオリジナルケーブルを使用してください。

シリアル ATA ドライブを取り付ける

お求めの Macintosh には、ハード・ドライブ・ベイに追加で 1 台の内蔵型シリアル ATA ドライブ（1 インチ高）を取り付けることができます（合計で 2 台のドライブ）。お求めのコンピュータには、1 台のシリアル ATA ドライブが付属しており、通常は上段のハード・ドライブ・ベイに収容されています。下段のハード・ドライブ・ベイに2台目のシリアルATAドライブを取り付けることができます。

ハード・ディスク・ドライブを取り付けるには：

1 コンピュータを開き、46 ページ以降の指示に従って側面パネルを取り外します。



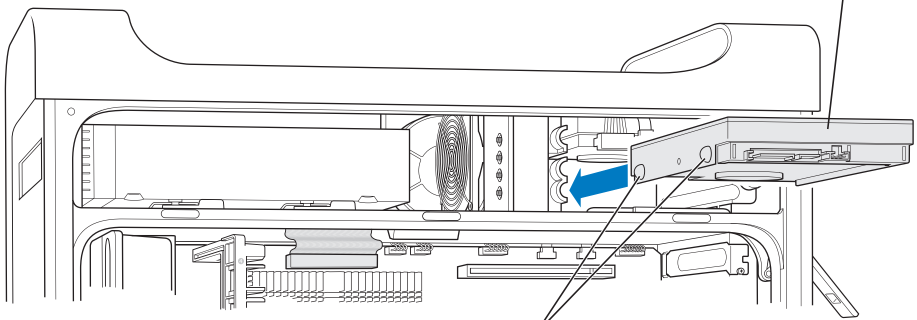
2 上の図に示したように、ハード・ドライブ・ベイの左側にある 4 つのドライブガイドのねじを外して、ハード・ドライブの側面のねじ穴に固定します。

重要：ハード・ディスク・ドライブの底部のプリント基板が露出している場合は、ドライブの側面を持つようにしてください。ドライブに損傷を与えないように、取り付け作業中はプリント基板に触れないように注意してください。

3 下段のドライブベイに追加のドライブを取り付けるには：

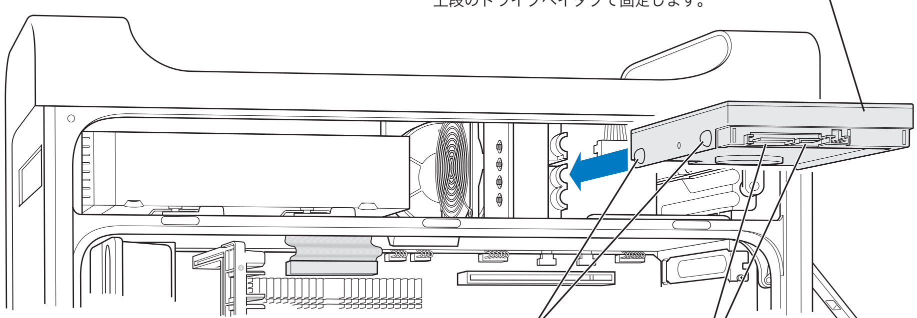
- ドライブを下段のドライブベイにスライドさせます。

- ドライブガイドの位置と向きを下のトラックに合わせて、動きが止まるまでドライブをベイの中に軽く押し込みます。



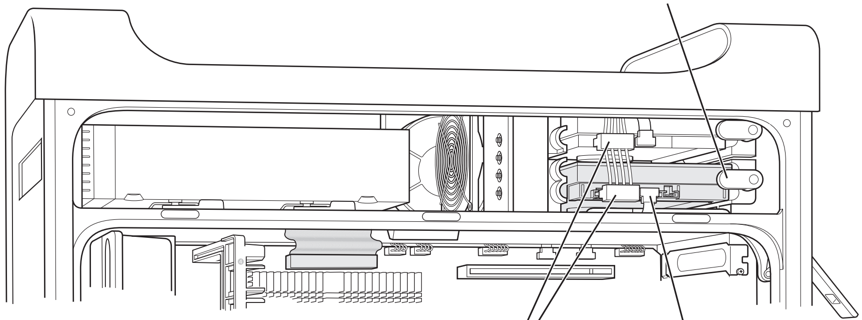
4 上段のドライブベイのドライブを取り換えるには：

- 下段のドライブベイにハード・ドライブが取り付けられている場合は、上段のドライブベイのハード・ドライブを取り替える前に、下段のドライブを取り外します。
- ドライブベイから離れるまで元のドライブを少し下に降ろして、ドライブベイの外に引き出します。
- 前面のドライブガイドを真ん中のトラックに合わせて、交換用のドライブを上段のドライブベイの中にスライドさせます。
- ドライブがドライブベイの中に入ったら、背面のドライブガイドを上のトラックにかみ合わせ、所定の位置に固定されるまでベイの中にドライブを軽く押します。



5 該当するドライブ・ベイ・タブを引き下げて、ドライブを固定します。

6 図に示すように、電源ケーブルとシリアル ATA データケーブルをドライブに接続します。



7 56 ページ以降の指示に従って、側面パネルを元の位置に戻します。

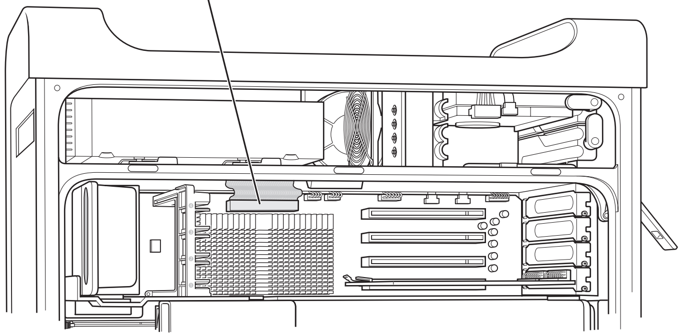
光学式ドライブを交換する

コンピュータには、SuperDrive が付属しています。光学式ドライブベイの SuperDrive ドライブを交換するときは、以下の手順に従ってください。

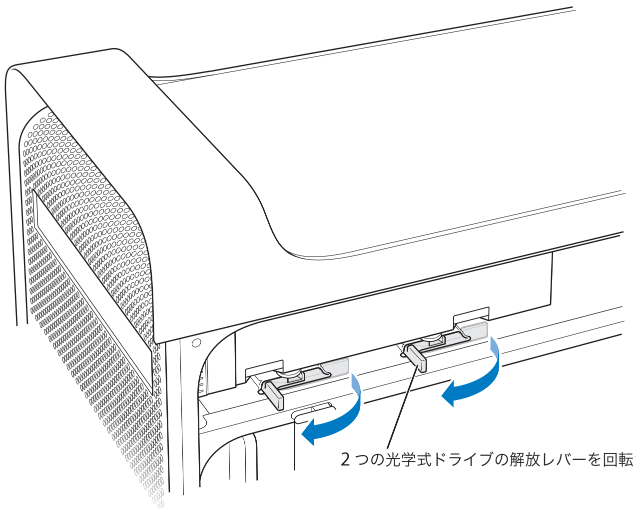
重要：ドライブの製造元に問い合わせるか、製造元の Web サイトを参照して、お使いのドライブがケーブル・セレクト・モードに設定されているかどうか確認してください。製造元でケーブル・セレクト・モードに設定していない場合は、取り付け前にドライブをケーブルセレクトに設定してください。

1 コンピュータを開き、46 ページ以降の指示に従って側面パネルを取り外します。

2 光学式ドライブのリボンケーブルをロジックボードから取り外します。

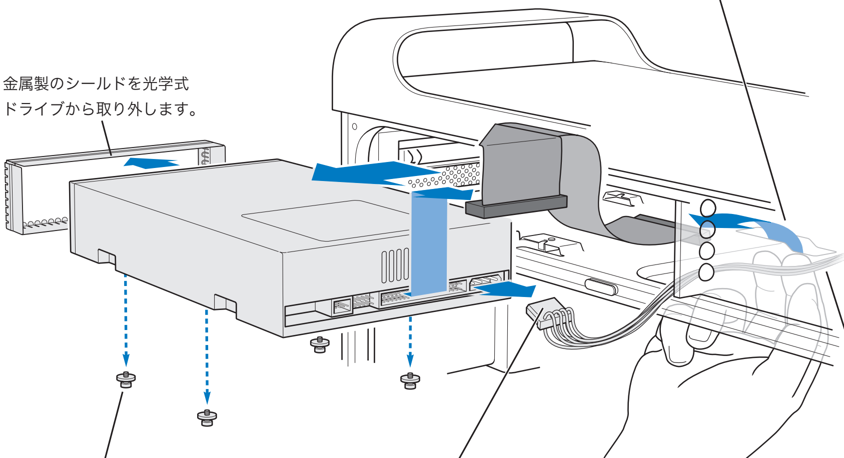


3 光学式ドライブの解放レバーを外側に押して、ドライブを解放します。



4 注意してベイからドライブを少しだけ引き出します。

5 リボンケーブルを元のドライブの背面から取り外し、光学式ドライブベイの背面にある金属製の仕切板の開口部からケーブルをそっと抜きます。



6 光学式ドライブベイの背面にある開口部に指を 2、3 本入れて、ドライブを軽く押し出し、コンピュータから取り外せるようにします。

7 電源ケーブルをドライブから取り外します。

8 元の光学式ドライブの底部にある 4 本の光学式ドライブ・ガイド・ピンのねじを外して、新しく取り付けるドライブの底部に取り付けます。

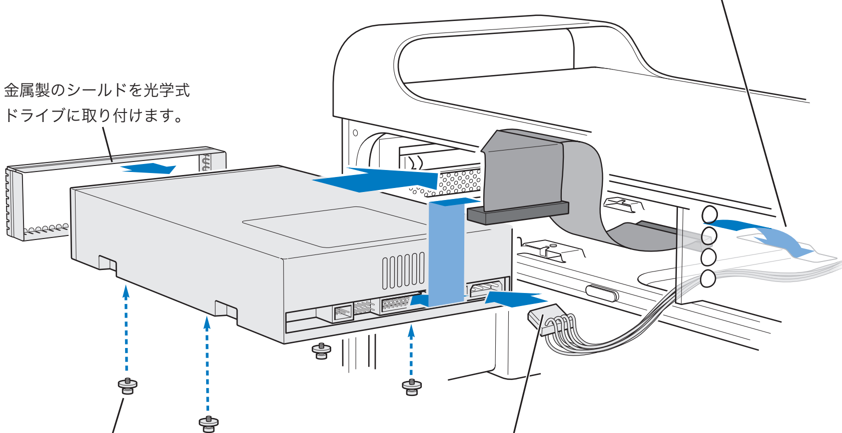
9 ドライブの前面から金属製のシールドを取り外し、新しく取り付けるドライブの前面に取り付けます。

10 注意して元のドライブの上部からリボンケーブルを取り外し、新しく取り付けるドライブに移します。

重要：リボンケーブルは、その下側の面の再利用可能な粘着テープでドライブに取り付けます。ケーブルを元のドライブから取り外すときは、テープをケーブルと一緒に保管するようにしてください。

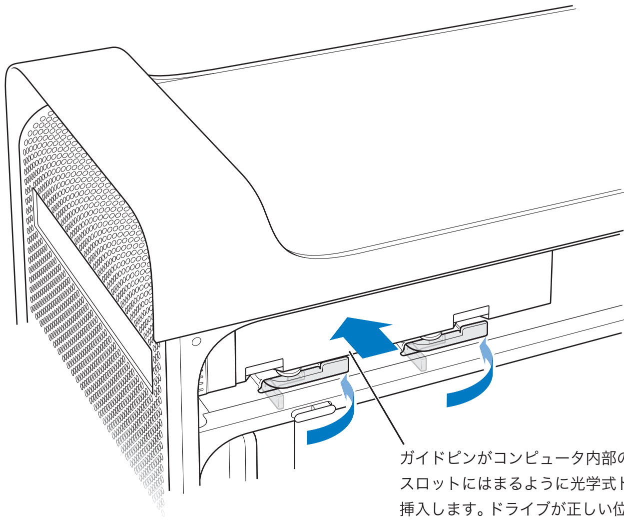
11 リボンケーブルコネクタと電源ケーブルを新しく取り付けるドライブの背面に接続します。

12 ドライブを途中までドライブベイに挿入し、リボンケーブルのまだ接続していない方の端を曲げて、光学式ドライブベイの背面にある金属製の仕切板の開口部を通して下に引き出します。

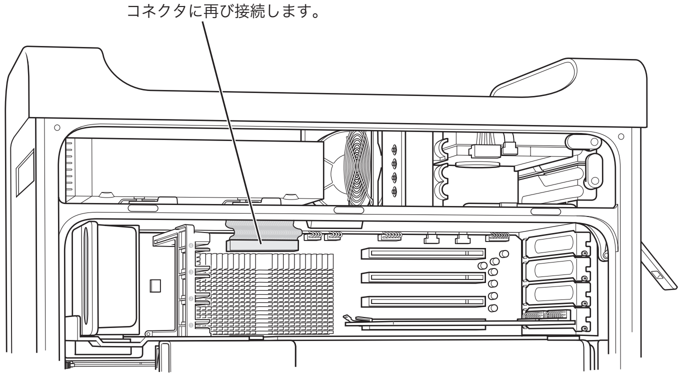


13 ドライブを最後までドライブベイに挿入し、光学式ドライブのガイドピンの位置と向きをスロットに合わせて、ドライブを所定の位置にそっと押し込みます。

14 ドライブを正しく取り付けると、光学式ドライブの解放レバーが閉じます。レバーが閉じない場合は、軽くレバーを押します。



15 光学式ドライブのリボンケーブルをロジックボードのコネクタに接続します。



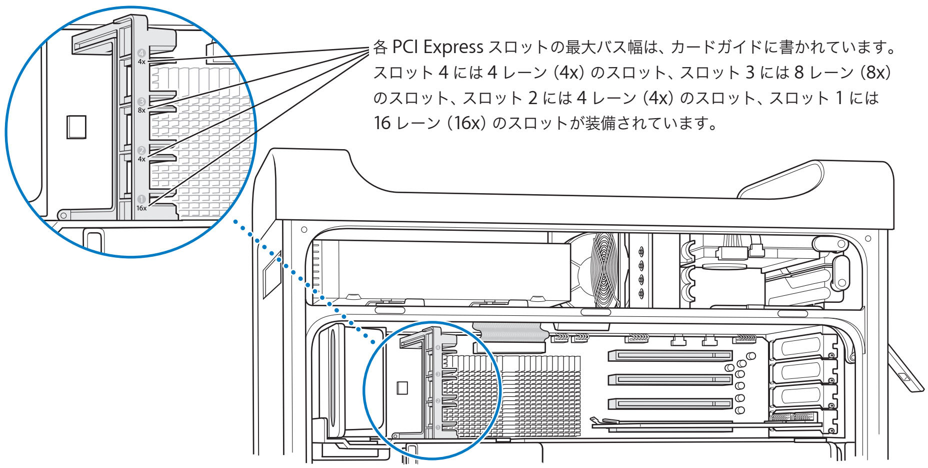
16 56 ページ以降の指示に従って、側面パネルを元の位置に戻します。

PCI Express カードを追加する

お求めの Power Mac G5 は、PCI（Peripheral Component Interconnect）Express スロットにカードを取り付けることによって機能を拡張できます。Power Mac G5 には 4 基の PCI Express スロットが搭載されており、PCI Express カードと PCI Express グラフィックカードを使用できます。

PCI Express カードについて

Power Mac G5 には、高性能 16 レーン（16x）PCI Express グラフィックカードが付属しています。PCI Express カードは、GPU（Graphics Processor Unit）を搭載していて、コンピュータのディスプレイポートを提供します。このカードはスロット 1 に取り付けられています。



いずれかのスロットに、PCI Express カードを追加で取り付けることができます。カードを取り付ける前に、Power Mac G5 で動作することを仕様で確認してください。

重要：4 基の PCI Express スロットすべての合計最大消費電力は 200 W（ワット）です。すべてのグラフィックカードの合計最大 VRAM（Video Random Access Memory）は、1 GB です（たとえば、VRAM の合計が 1 GB の場合は、512 MB の VRAM カードを 1 枚と 256 MB の VRAM カードを 2 枚取り付けることができます）。

すべてのスロットで最大 16 レーンの PCI Express カードを使用できますが、スロットよりも大きな帯域幅を必要とするカードを取り付ける場合、カードはスロットの帯域幅で動作します。たとえば、4x スロットに取り付けられている 8x カードは、4x カードとして動作します。次の表を参照してください。

PCI Express スロット	バス帯域幅	コネクタサイズ
4	4 レーン（4x）	16 レーン
3	8 レーン（8x）	16 レーン
2	4 レーン（4x）	16 レーン
1	16 レーン（16x）	16 レーン

追加のカードを取り付けるときは、帯域幅が最大のカードをスロット 3 に取り付けてください。以下のガイドラインに従って、2 番目の PCI Express カードをスロット 3、3 番目のカードをスロット 4、4 番目のカードをスロット 2 に取り付けます。このようにすると、各スロットのバス帯域幅が有効に利用されます。

カードを取り付ける

PCI Express グラフィックカードおよび拡張カードをスロット 1 から 4 に取り付けることができます。

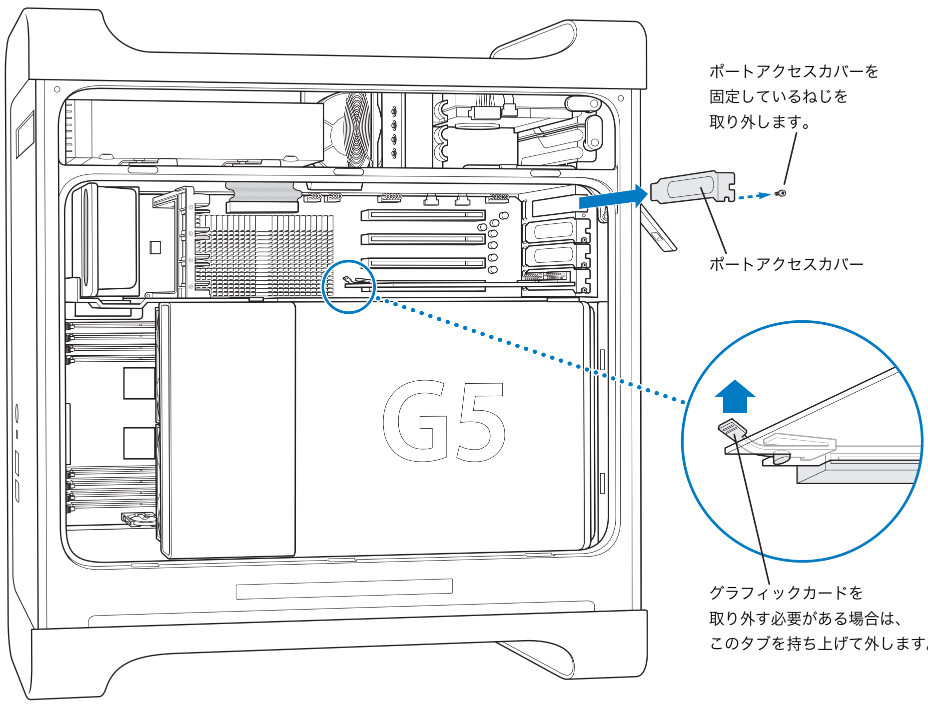
参考：お使いの Power Mac G5 を横にすると、簡単に PCI Express カードを取り付けることができます。柔らかくて清潔な布を机または作業面の上に置いて、作業面や Power Mac G5 に傷が付かないようにしてください。

PCI Express カードを取り付けるには：

1 コンピュータのカバーを開けて、側面パネルとエアディフレクタを取り外します（46 ページを参照）。

> **警告：**内部の部品や取り付ける部品に損傷を与えないようにするため、必ず Power Mac G5 の電源を切ってから電源プラグを抜いてください。5 〜 10 分ほど放置して、コンピュータが冷めるのを待ちます。コンピュータの電源コードが接続されているときは、内部に部品を取り付けないでください。

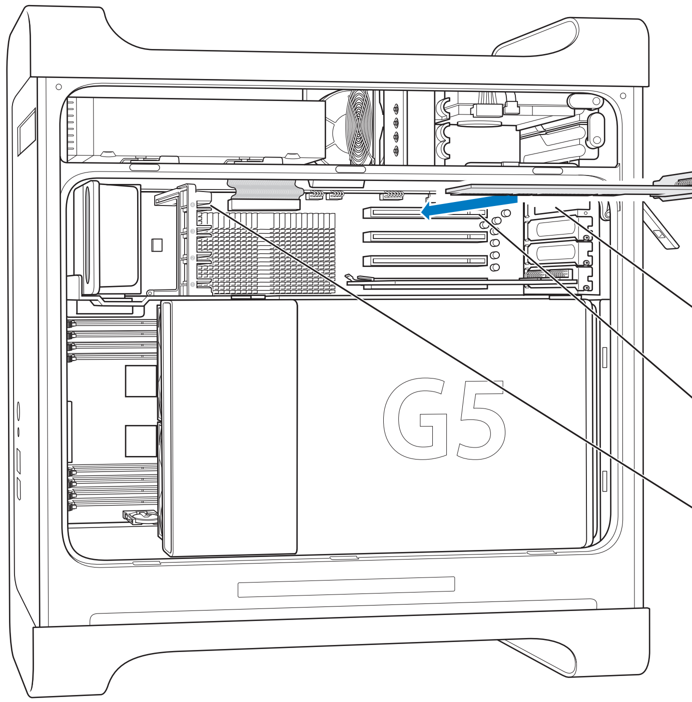
2 ポートアクセスカバーのねじを取り外し、アクセスカバーを引き出して、そばに置いておきます。



3 取り付けるカードを帯電防止用の袋から取り出します。カードは四隅の部分だけを持って取り扱ってください。金色のコネクタ（端子部）やカード上の部品には手を触れないでください。

4 カードのコネクタの向きや位置を拡張スロットに合わせてから、コネクタがスロットに完全に差し込まれるまで、カードを押します。

12インチのカードを取り付ける場合は、カードが適切なガイドに入っていることを確認してください。



コネクタが完全に差し込まれるまで、カードを慎重に、しっかりと押してください。

- カードを前後や左右に動かさないでください。カードは、まっすぐスロットに向けて押し込んでください。
- カードを無理やり押し込まないでください。カードをうまく差し込めないときは、いったんカードを抜きます。コネクタとスロットが壊れていないことを確認してから、カードをもう一度差し込みます。
- カードを軽く引いて、カードが正しく接続されていることを確認してください。カードが正しく接続されているときは、カードはすぐに抜けず、所定の位置にとどまります。また、金色のコネクタはほとんど見えません。

5 取り外したポートアクセスカバーのねじを差し込んでからねじを締め、カードを所定の位置に固定します。

> **警告：**カードを取り外す場合、そのカードが取り付けられていたスロットに別のカードを取り付けないのであれば、その空のスロットにポートアクセスカバーを取り付けて異物が本体の内部に入るのを防いでください。スロットにカバーを取り付けないで放置した場合、換気が適切に行われないために内部の部品が過熱して、装置が故障する原因になります。

6 55 ページから始まる指示に従って、エアディフレクタと側面パネルを元の位置に戻します。

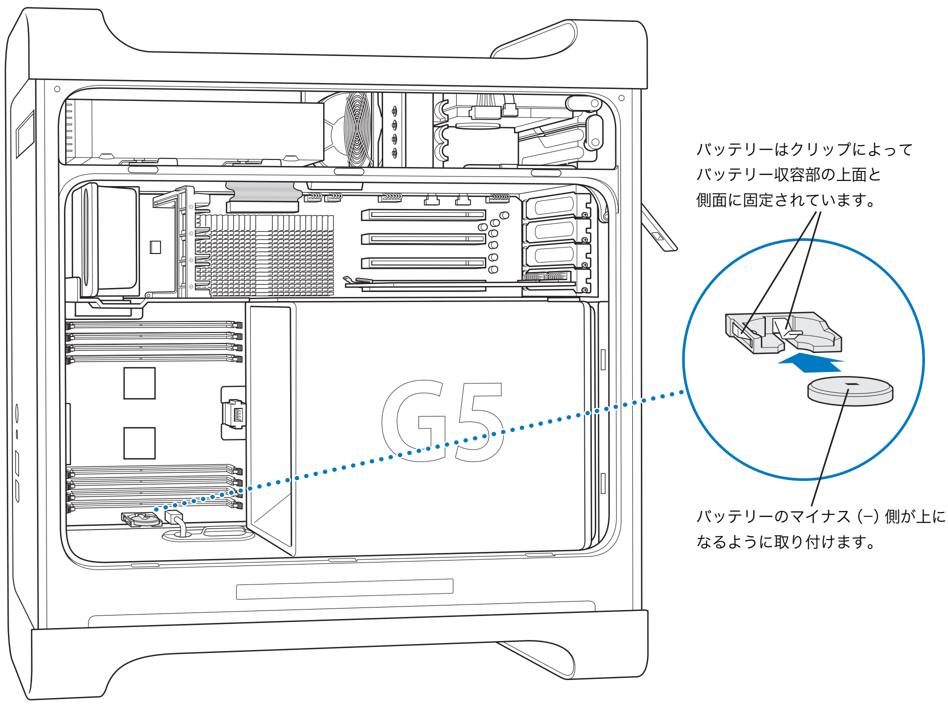
内部バックアップバッテリーを交換する

お求めの Power Mac G5 には、コンピュータの電源を切ったときに日時などの設定を保存する内部バックアップバッテリーが搭載されていています。Power Mac G5 の起動時に間欠的に障害が発生したり、日時の設定がランダムに変更されたりする場合は、バッテリーを交換する必要がある場合があります。Power Mac G5 では CR 2032 リチウム・コイン・セル・バッテリーを使用します。

重要：バッテリーには、環境に有害な化学物質が含まれているため、使用済みのバッテリーを廃棄する際は、お住まいの地域の環境法に従ってください。

バッテリーを交換するには：

1 コンピュータを開き、46 ページ以降の指示に従って側面パネルとエアディフレクタを取り外します。



2 古いバッテリーをバッテリー収容部から取り外します。バッテリーの隣にあるDIMMスロットにメモリモジュールが取り付けられている場合は、バッテリーを取り外す前に取り外す必要があります。

> ⚠ **警告：**取り付けかたを間違ったり、不適切なバッテリーを取り付けたりすると、バッテリーが破裂するおそれがあります。必ず、工場出荷時に取り付けられていたものと同じ種類のバッテリーか、工場出荷時に取り付けられていたバッテリーの製造元が出荷時のバッテリーと同等だと認めて推奨している種類のバッテリーだけをお使いください。

3 新しいバッテリーのマイナス側（–）を上にしてバッテリー収容部にセットします。

4 55 ページの指示に従って、エアディフレクタと側面パネルを元の位置に戻します。

5 トラブルへの対処方法

ここでは、コンピュータの使用中に問題が発生した場合に、すぐに確認できる事項について説明します。

コンピュータが反応しない、またはポインタが動かない。
まず、マウスとキーボードをコネクタから抜き、もう一度接続して、どちらも奥までしっかりと差し込まれていることを確認します。

次に、コンピュータが実行中の操作をキャンセルします。

- コマンド（⌘）キーと Q キーを同時に押して、現在のアプリケーションを終了します。
- コマンド（⌘）キーとピリオドキーを同時に押します。ダイアログが表示されたら、「キャンセル」をクリックします。
- アップル（）メニュー＞「強制終了」と選択し、終了したいアプリケーションを選択します。Esc キー、Option キー、コマンド（⌘）キーを同時に押して、強制終了することもできます。完全に問題がない状態にするために、アップル（）メニュー＞「再起動」と選択して Power Mac G5 を再起動します。また、Power Mac G5 がシステム終了するまで約 5 秒間パワーボタン（⏻）を押して、再起動することもできます。パワーボタン（⏻）をもう一度押して、Power Mac G5 を起動します。
- 特定のプログラムを使用したときだけ問題が起きる場合は、そのプログラムの製造元に連絡して、お使いのコンピュータと互換性があるかどうかを確認してください。
- 頻繁にトラブルが起きる場合は、「ヘルプ」＞「Mac ヘルプ」と選択し、「問題を解決する」を検索してください。

コンピュータの電源が入らない、または起動しない。

- 電源コードが、コンピュータの電源入力部と使用可能な電源コンセントに差し込まれていることを確認します。電源コードのプラグがコンピュータの電源ソケットに完全に差し込まれ、しっかりと固定されていないと、コンピュータは正常に機能しません。
- まだコンピュータが起動しない場合は、PRAM をリセットしてみます。コンピュータを起動してすぐに、コマンド（⌘）キー、Option キー、P キー、R キーを同時に押して、2 度目の起動音が鳴るまで押し続けます。キーを放します。次の操作を実行して、コンピュータの起動ディスクとしてハードディスクを設定します：

1. アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。
2. 「起動ディスク」をクリックします
3. ハードディスクを選択します

PRAM はデフォルトの値にリセットされ、クロックの設定もリセットされる場合があります。

- PRAM のリセット後にコンピュータが起動しない場合は、Option キーを押したままコンピュータを再起動して起動システムを選択します。
- それでも起動しない場合は、Shift キーを押したままコンピュータを再起動します。

ディスクを取り出せない。

ディスク上のファイルが使用中である可能性があります。開いているアプリケーションを終了してから、再び取り出し操作を行ってください。

この方法がうまくいかない場合は、アップル（）メニュー＞「再起動」と選択し、マウスボタンまたは Apple Keyboard のメディアイジェクト（⏏）キーを押したままにします。

この方法がうまくいかない場合：

1. コンピュータのシステムを終了させます。
2. ドライブのトレイの前面を覆っている前面パネルを慎重に押し下げて、ドライブトレイの下にある小さな穴を探します。
3. その穴に、まっすぐ伸ばした大きなペーパークリップを注意して差し込みます。
4. トレイが開くまで押します。
5. トレイを引き抜いてディスクを取り除いた後、トレイを押して閉めます。

ステータスランプが点滅し、コンピュータが起動しない。

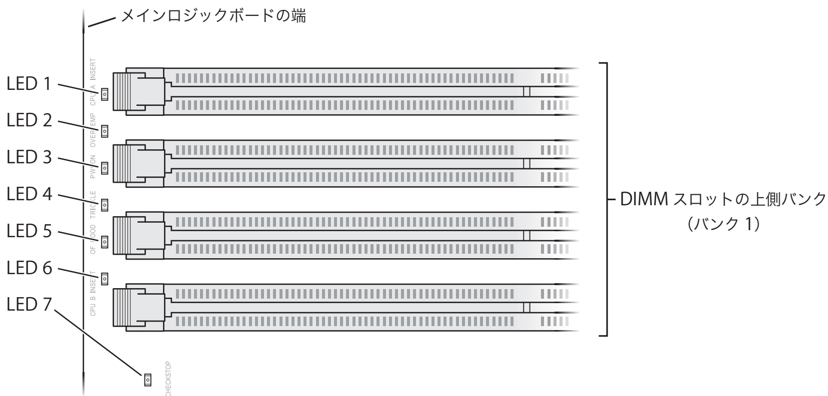
- 最近メモリや PCI 拡張カード、その他の部品をコンピュータ内部に取り付けた場合は、その部品が適切に取り付けられていること、お使いのコンピュータと互換性があることを確認してください。取り付けた部品を取り外してコンピュータを起動できるか確認してください。
- ステータスランプが点滅する場合は、点滅の回数を確認して問題を識別します：
  - 2 回点滅：RAM が取り付けられていません。
  - 3 回点滅：互換性のない RAM が取り付けられています。
  - 4 回点滅：DIMM バンクに問題があります。
  - 5 または 6 回点滅：アップル正規サービスプロバイダにお問い合わせください。

ロジックボードの LED ランプが点灯している。

Power Mac G5 のメインロジックボードの左上に、最大で 7 個の LED ランプが付いています。LED ランプが点灯している場合は、点灯しているランプを見つけてから、以下の説明を使って点灯の原因を特定してください：

参考：LED 3、4、または 5 が点灯するのは、エアディフレクタが所定の位置にないか、正しく閉じられていないときだけです。LED 6 のない Power G5 もあります。

- LED 1—CPU A：赤 — アップル正規サービスプロバイダにお問い合わせください。
- LED 2— 過温度状態：赤 — アップル正規サービスプロバイダにお問い合わせください。
- LED 3— 電源入：赤 — 主電源が入っています。
- LED 4— 細流電圧：黄 —Power Mac G5 がコンセントに正しくつながれています。
- LED 5—Open Firmware 良好 ：緑 — 問題はありません。
- LED 6—CPU B：赤 — アップル正規サービスプロバイダにお問い合わせください。
- LED 7—Checkstop：赤 — アップル正規サービスプロバイダにお問い合わせください。



ソフトウェアに関する問題

重要：お使いのコンピュータのClassic環境でMac OS 9アプリケーションを使用するには、Mac OS 9をインストールする必要があります（75 ページの「Mac OS 9 をインストールする」を参照）。Classic環境を起動するには、Mac OS 9 アプリケーションを開くか、Mac OS 9 アプリケーションが必要な書類をダブルクリックします。Classic は Mac OS 9 の機能とソフトウェア・アプリケーションにアクセスできるように、バックグラウンドで稼動します。

ソフトウェアプログラムに問題が起きる。

- 「ソフトウェア・アップデート」を使用して、最新のドライバ、不具合の修正、その他の更新を行ってください。
- アップル以外の製造元のソフトウェアで起きる問題については、そのソフトウェアの製造元に問い合わせてください。

コンピュータを使用しているときや Mac OS X を操作しているときに問題が起きる。

- 「ヘルプ」メニューの「Mac OS ヘルプ」を開いて、操作手順とトラブルへの対処方法に関する情報を参照してください。
- インターネットにあるアップルのサポート情報の Web サイトに接続し、トラブルへの対処方法や、「ソフトウェア・アップデート」の最新情報を確認してください：www.apple.com/jp/support

AirMac ワイヤレス通信に問題がある。

- AirMac Express または AirMac Extreme ベースステーションに付属の説明に従って、ソフトウェアを正しく設定したことを確認します。
- 接続しようとしているコンピュータまたはネットワークが稼動していて、ワイヤレス・アクセス・ポイントを持っていることを確認します。
- コンピュータやネットワークのアクセスポイントのアンテナの有効範囲内にいることを確認してください。電気製品や金属の建造物が近くにあると、ワイヤレス通信が妨げられ、通信範囲が狭くなる可能性があります。コンピュータの場所を変えたり、向きを変えたりすると受信効率が上がることがあります。
- AirMac の信号レベルを確認します。メニューバーの AirMac ステータスアイコンに最大で 4 本のラインが表示されます。
- 詳しくは、ワイヤレス装置に付属の説明書を参照するか、「Mac ヘルプ」で「AirMac」を検索してください。

ディスプレイの問題

警告：アップル製ディスプレイに問題が発生し、このマニュアルの記載事項によっても解決できない場合は、アップル正規サービスプロバイダ、またはアップル製品取扱販売店にご連絡ください。お客様ご自身でディスプレイの修理をされた場合、作業の結果として生じた故障に対して、製品保証は適用されません。製品保証について詳しくは、アップル製品取扱販売店またはアップル正規サービスプロバイダにお問い合わせください。

画面に画像が表示されない。

- ディスプレイとコンピュータに電源が入っていることを確認してください。
- コンピュータとディスプレイにケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- コンピュータがスリープ状態でないことを確認してください。コンピュータのスリープ状態を解除できるかどうかを確認するために、パワーボタンまたは任意のキーを押します。
- ディスプレイの輝度とコントラストが適切に設定されていることを確認してください。ディスプレイによっては、モニタ前面または下部に輝度とコントラストの調節機能が付いているものがあります。
- コンピュータの PRAM をリセットします。コンピュータを起動中に、コマンド（⌘）キー、Option キー、P キー、R キーを同時に押し、2 度目の起動音が鳴るまで押し続けます。次に、お使いのコンピュータに付属のソフトウェアインストーラディスクを使って起動します。

画面の画像がかすんだり、ちらついたりする。

- ディスプレイの輝度とコントラストを調節してください。ディスプレイによっては、モニタ前面または下部に輝度とコントラストの調節機能が付いているものがあります。ディスプレイの輝度やコントラストの状態に応じて、必要であれば「システム環境設定」の「ディスプレイ」パネルを使って輝度やコントラストを調節します。
- アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択して、ディスプレイを補正します。「ディスプレイ」をクリックし、「カラー」を選択して、「補正」をクリックします。
- ちらつきは、お近くの送電線、蛍光灯、または電気製品（ラジオ、電子レンジ、その他のコンピュータなど）からの干渉によって発生する場合があります。お近くの電気製品、あるいはコンピュータとディスプレイを移動してみてください。

画面に色が表示されない、または色が正しく表示されない。

- ディスプレイがコンピュータにしっかりと接続されていることを確認してください。
- 前述の方法に従って、ディスプレイを補正します。色とディスプレイの詳細については、「Mac ヘルプ」を参照してください。
- 「システム環境設定」の「ディスプレイ」パネルを開いて、お使いのディスプレイが色を表示するように設定されていることを確認します。色とディスプレイの詳細については、「Mac ヘルプ」を参照してください。

画面解像度を変更後、デスクトップのアイコンが移動してしまった。

画面解像度の変更は、画面の情報表示に影響します。画面解像度を変更すると、オペレーティングシステムはアイコンを配置し直します。

画面が動かなくなる。

- 動かなくなったアプリケーションを強制終了します。アップル（）メニュー＞「強制終了」と選択し、アプリケーションを選択します。
- この方法がうまくいかない場合、コンピュータ前面のパワーボタンを約 5 秒間押して、コンピュータを強制的に再起動します。

ディスプレイ前面のランプが点滅している。

アップル製フラットパネルディスプレイには、エラーが検知された場合、電源ランプが短い点滅を繰り返すものがあります。

- 3 回の短い点滅が繰り返される場合は、ディスプレイが誤った映像信号形式の入力を検出しています。お使いのディスプレイにグラフィックカードとの互換性があるかどうか確認してください。また、ディスプレイにインストールソフトウェアが付属していた場合は、ディスプレイの正しいソフトウェアをインストールしたかどうか確認してください。
- 2 回の短い点滅と 1 回の長い点滅が繰り返される場合は、ディスプレイがバックライトランプの問題を検出しています。アップル製品取扱販売店、またはアップル正規サービスプロバイダにお問い合わせください。

Apple Hardware Test を使用する

「Apple Hardware Test」を使って、コンピュータのハードウェアに問題があるかどうかを確認することができます。

Apple Hardware Test を使用するには：

1. キーボードとマウス以外のすべての外部装置をコンピュータから取り外します。Ethernet ケーブルが接続されている場合は、そのケーブルを取り外します。
2. コンピュータに付属の「Mac OS X Install Disc 1」を挿入します。
3. コンピュータを再起動し、起動時に Option キーを押したままにします。

   使用可能な起動ボリュームのリストが表示されます。
4. 「Apple Hardware Test」をクリックし、右矢印をクリックします。
5. 「Apple Hardware Test」のメイン画面が表示されたら（約 45 秒後）、画面に表示される指示に従って操作します。
6. サポートを要請する前に、エラーコードをメモしてください。

   「Apple Hardware Test」によって問題が検出された場合は、エラーコードが表示されます。「Apple Hardware Test」によってハードウェアの障害が検出されない場合、問題はソフトウェアに関係している可能性があります。

「Apple Hardware Test」について詳しくは、「Mac OS X Install Disc 1」にある「Apple Hardware Test について」を参照してください。

コンピュータに付属のソフトウェアを再インストールする

Mac OS X とコンピュータに付属のアプリケーションをインストールし直したり、Mac OS 9 をインストールするには、コンピュータに付属のソフトウェア・インストール・ディスクを使用します。

重要：アップルでは、ソフトウェアを復元する前に、ハードディスクのデータをバックアップしておくことをお勧めします。いかなるデータの消失につきましても、アップルは一切の責任を負いません。

Mac OS X をインストールする

Mac OS X をインストールするには：

1. 可能な場合は、重要なファイルをバックアップします。
2. コンピュータに付属の「Mac OS X Install Disc 1」を挿入します。
3. 「Install Mac OS X and Bundled Software」をダブルクリックします。
4. 画面に表示される指示に従って操作します。
5. インストール先のディスクを選択して、画面に表示される指示に従って操作を続けます。

   コンピュータが再起動し、次の「Mac OS X Install Disc」を挿入するよう求めるメッセージが表示される場合もあります。

重要：「消去してからインストール」オプションはインストール先ディスクを消去するので、重要なファイルは Mac OS X やその他のアプリケーションをインストールする前にバックアップしておいてください。

アプリケーションをインストールする

お使いのコンピュータに付属のアプリケーションをインストールするには、次の手順に従います。コンピュータにすでに Mac OS X がインストールされている必要があります。

アプリケーションをインストールするには：

1 可能な場合は、重要なファイルをバックアップします。

2 コンピュータに付属の「Mac OS X Install Disc 1」を挿入します。

3 「Bundled Software」をダブルクリックします。

4 画面に表示される指示に従って操作します。

5 インストール先のディスクを選択して、画面に表示される指示に従って操作を続けます。

「iCal」、「iChat」、「iSync」、「iTunes」、および「Safari」をインストールするには、上記の「Mac OS X をインストールする」の手順に従います。

Mac OS 9 をインストールする

お使いのコンピュータには、Mac OS 9 はインストールされていません。お使いのコンピュータで Mac OS 9 アプリケーションを使用する場合は、「Mac OS X Install Disc 2」を使って Mac OS 9 をインストールする必要があります。

Mac OS 9 をインストールするには：

1 可能な場合は、重要なファイルをバックアップします。

2 コンピュータに付属の「Mac OS X Install Disc 2」を挿入します。

3 「Install Mac OS 9 System Support」をダブルクリックします。

4 画面に表示される指示に従って操作します。

5 インストール先のディスクを選択して、画面に表示される指示に従って操作を続けます。

Ethernet の性能を最大にする

お使いのコンピュータは、接続する Ethernet ポートが自動ネゴシエーションに設定されている場合に、最大の性能が得られます。自動ネゴシエーションの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

重要：ネットワークの接続に問題が発生した場合、可能な場合は、ネットワークスイッチが自動ネゴシエーションに設定されていることを確認してください。スイッチが自動ネゴシエートできない場合は、適切な転送速度が自動検出され、デフォルトの半二重方式に設定されます。このとき、リンクのもう一方の終端にあるスイッチのポートが全二重方式モードに設定されている場合、そのリンクにおいて多数の遅延イベントが発生する可能性があります。ネットワークスイッチを自動ネゴシエーションに設定できない場合は、スイッチのポートを半二重方式に設定してください。詳しくは、Ethernet スイッチに付属するマニュアルを参照してください。

参考：お使いのコンピュータを、設定可能な Ethernet スイッチに直接接続する場合、使用するポートのスパニングツリーを無効に設定するように、ネットワーク管理者に依頼してください。スパニングツリーを無効に設定しないと、お使いのコンピュータが、同じネットワーク上にある別のコンピュータの AppleTalk アドレスを複製してしまう場合があるため、両方のネットワーク接続の安定性が失われる可能性があります。

製品のシリアル番号を確認する

「システムプロファイラ」には、お使いのコンピュータのシリアル番号が表示されます。「システムプロファイラ」（「アプリケーション / ユーティリティ」にあります）を開いて、「システム特性」タブをクリックしてください。

お使いの Power Mac G5 のシリアル番号は、構成ラベルにも記載されています（側面パネルの内側のエアディフレクタのすぐ下にあります）。

仕様

A

プロセッサおよびメモリの仕様

プロセッサ

- PowerPC G5 デュアルコア・プロセッサ
- 各プロセッサに 1 MB（メガバイト）のオンチップ 2 次キャッシュ

RAM（Random-Access Memory）

- DDR2（Double-Data-Rate 2）SDRAM（Synchronous Dynamic Random-Access Memory）
- すべての DDR2 SDRAM は取り外し可能な DIMM（Dual Inline Memory Module）として搭載
- PC2-4200、533 MHz DIMM（DDR2-533 ともいいます）
- DIMM は、仕様およびサイズが等しいものをペアで取り付ける必要があります
- 以下の 8 つの DIMM スロットを使用できます：
  - 256 MB の DIMM の場合、128 または 256 Mbit（メガビット）のメモリのみ使用可能
  - 512 MB の DIMM の場合、256 Mbit のメモリのみ使用可能
  - 1 GB の DIMM の場合、512 Mbit のメモリのみ使用可能
- エラー訂正コード（ECC）またはエラー訂正コードなし（NECC）のモジュール。1 つのペアに ECC と NECC のメモリモジュールを混在させないでください。
- 64 ビット幅、240 ピンモジュール
- DIMM 当たり最大 18 のメモリ装置
- JEDEC 仕様に準拠（51 ページを参照）
- バッファなし（レジスタ付きやバッファ付きは使用できません）
- 高さは最大 31.75 mm（1.25 インチ）
- パリティなし

「アプリケーション / ユーティリティ」にある「システムプロファイラ」には、メモリの容量など、お使いのコンピュータに関する情報が表示されます。

グラフィックカード

2 つの DVI（Digital Visual Interface）コネクタを備えた PCI Express グラフィックカード。すべてのグラフィックカードの合計最大 VRAM（Video Random Access Memory）は、1 GB です。

画像表示モード

お使いのディスプレイの技術仕様：

- アップル製ディスプレイの場合：アップルの Web サイト（www.apple.com/jp/displays）で製品の仕様を参照してください。
- 他社製ディスプレイの場合：www.apple.com/jp/guide を参照してください。

SuperDrive（DVD+R DL/DVD±RW/CD-RW）の仕様

- 使用可能なディスクの直径：12 cm および 8 cm

データ形式

- CD-ROM
- CD-Audio
- CD-R
- CD-RW
- CD-I
- CD-I Bridge
- CD Extended
- CD Mixed Mode
- Photo CD
- Video CD
- Enhanced CD
- DVD-Video
- DVD±R
- DVD±RW
- DVD+R DL

USB の仕様

- USB（Universal Serial Bus）2.0 および 1.1 をサポート
- 5 基の USB Type A ポート
  - 前面に 1 基の USB 2.0 ポート
  - 背面に 3 基の USB 2.0 ポート
  - Apple Keyboard に 2 基の USB 1.1 ポート
- 各リアポートは別々の 480 Mbps（メガビット／秒）の USB チャネル
- 各 USB 2.0 ポートに供給できる電力の上限は 500 mA（ミリアンペア）、5 V。合計では 1.5 A（アンペア）

FireWire の仕様

- FireWire 400 および FireWire 800 をサポート
- 3 基の FireWire ポート
  - 前面に 1 基の FireWire 400 ポート

- 背面に 1 基の FireWire 400 および 1 基の FireWire 800 ポート
- データ転送速度：
  - FireWire 400：100、200、および 400 Mbps
  - FireWire 800：100、200、400、および 800 Mbps

電源

- 出力電圧：約 24 〜 26 V
- 出力電力：3 つのポートすべてを使用する場合は最大 37.5 W、いずれか 1 つのポートを使用する場合は 25 W

Ethernet の仕様

- IEEE 802.3 規格に準拠
- ケーブルの長さ（最長）：100 m（メートル）
- プロトコル：Open Transport、AppleShare、AppleTalk、NetWare for Macintosh、TCP/IP
- コネクタ：RJ-45（10Base-T、100Base-TX、1000Base-T に対応）
- 接続媒体（10Base-T）：カテゴリ（CAT）3 またはそれ以上の 2 対 4 芯の UTP、最長 100 m
- 接続媒体（100Base-TX）：CAT 5-e の 2 対 4 芯の UTP、最長 100 m
- 接続媒体（1000Base-T）：CAT 5-e の 4 対 8 芯の UTP、最長 100 m
- チャネル速度：IEEE が規定した 10Base-T、100Base-TX、および 1000Base-T の自動速度判別規格に準拠

Bluetooth の仕様（オプション装備品）

- ワイヤレスデータ通信速度：最大 3 Mbps
- 通信可能範囲：最大 10 m（33 フィート）（データ速度は環境状況によって変化する場合があります）
- 周波数帯：2.4 GHz（ギガヘルツ）

AirMac Extreme の仕様（オプション装備品）

- ワイヤレスデータ通信速度：最大 54 Mbps
- 通信可能範囲：最大46 m（150フィート）（データ速度は環境状況によって変化する場合があります）
- 周波数帯：2.4 GHz（ギガヘルツ）
- 無線出力：15 dBm（公称値）

互換性

- 802.11、DSSS（Direct Sequence Spread Spectrum）方式、1 Mbps および 2 Mbps
- 802.11b 11Mbps 規格
- 802.11g 54 Mbps 規格

光デジタルオーディオの仕様

- データ形式：S/PDIF（Sony/Phillips Digital Interface）プロトコル（IEC60958-3）
- コネクタのタイプ：Toslink 光（IEC60874-17）
- サンプルビット数：16 ビットまたは 24 ビット

光デジタルオーディオ出力

通常時の再生は 1 kHz、-1 dBFS 24 ビットの正弦波、44.1 kHz の出力サンプリングレート、ただし以下の指定がある場合を除く。

- 出力サンプリングレート：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、または 96 kHz
- S/N 比：130 dB 以上
- 全高調波歪み率＋ノイズ：-130 dB（0.00001 %）未満

光デジタルオーディオ入力

通常時の再生は 1 kHz、-1 dBFS 24 ビットの正弦波、ただし以下の指定がある場合を除く。

- Fsi 入力サンプリングレート（外部クロックモード）：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、または 96 kHz
- Fsi 入力サンプリングレート（内部クロックモード）：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、または 96 kHz
- S/N 比（外部クロックモード）：130 dB 以上
- S/N 比（内部クロックモード、16 kHz < Fsi < 96 kHz）：-112 dB 未満
- 全高調波歪み率＋ノイズ（外部クロックモード）：-130 dB（0.00001 %）未満
- 全高調波歪み率＋ノイズ（内部クロックモード、16 kHz < Fsi < 96 kHz）：-112 dB 未満（0.0003%）

アナログオーディオの仕様

- サンプリングレート：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、または 96 kHz
- ジャックのタイプ：3.5 mm（1/8 インチ）ミニ
- サンプルビット数：16 ビットまたは 24 ビット
- 周波数応答：20 Hz ～ -20 kHz、+0.5 dB ／ -3 dB

ヘッドフォンジャックを使用した音声出力

- 出力電圧：1.4 ボルト（V_{rms}）（+4 dBµ）
- 出力インピーダンス：24 Ω（オーム）
- 出力電力：90 mW（ミリワット）
- S/N 比：90 dB 以上
- 全高調波歪み率：-80 dB（0.01 %）未満
- チャンネルセパレーション：65 dB 以上

アナログオーディオライン入力

- 最大入力電圧：2 V_{rms}（+8 dBµ）
- 入力インピーダンス：47 kΩ（キロオーム）以上
- S/N 比：90 dB 以上

- 全高調波歪み率：-85 dB（0.006%）未満
- チャンネルセパレーション：75 dB 以上

アナログオーディオライン出力

- 出力電圧：1.4 V_{rms}（+4 dBμ）
- 出力インピーダンス：24 Ω（オーム）
- S/N 比：90 dB 以上
- 全高調波歪み率：-80 dB（0.01 %）未満
- チャンネルセパレーション：65 dB 以上

電源ユニット

AC ライン入力

- 電圧幅：100 〜 120 VAC（交流電圧）および 200 〜 240 VAC
- 電流：最大 12 A（アンペア）（低電圧幅）または 6 A（高電圧幅）
- 周波数：50 〜 60 Hz

DC ディスプレイ出力

ビデオカードにより異なります

周辺装置の電力要件

拡張カード

4 基の PCI Express スロットすべての合計最大消費電力は 200 W（ワット）です。

USB 装置

コンピュータの各内蔵 USB ポートには、500 mA が割り当てられます。

FireWire 装置

FireWire ポートには、合計で最大 37.5 W まで供給できます。

システム時計とバッテリー

コンピュータには CMOS カスタム回路（ロングライフバッテリーにて給電）があります。

バッテリー

3 V、CR 2032 リチウム・コイン・セル交換用バッテリーを使用してください（68 ページの「内部バックアップバッテリーを交換する」を参照）。

外形寸法および動作環境

外形寸法

- 重量：21.6 kg（47.6 ポンド）

  重量は構成によって異なります。上記の重量は基本構成の場合です。オプションの装置を取り付けると、この重量より重くなる場合があります。

- 高さ：511 mm（20.12 インチ）
- 幅：206 mm（8.11 インチ）
- 奥行き：475 mm（18.70 インチ）

動作環境

- 動作時温度：10°C 〜 35°C（50°F 〜 95°F）
- 保管時温度：–40°C 〜 47°C（–40°F 〜 116°F）
- 相対湿度：5%〜 95%（結露しないこと）
- 高度：0 〜 3048 メートル（0 〜 10,000 フィート）

安全性、保守、および作業環境

B

付録

この付録では、安全な使用手順、日常的な保守、およびコンピュータとディスプレイを使用する際の作業環境について、重要な情報を説明します。

安全性に関する重要な情報

コンピュータの電源を完全に切るには、電源ソケットから電源ケーブルを抜いてください。ディスプレイを完全に切るには、コンピュータまたはコンセントから電源ケーブルを抜いてください。必要な場合にコンピュータやディスプレイの電源プラグを抜くことができるように、少なくともケーブルのどちらかの一端を手の届く範囲に設置してください。

コンピュータをお使いになる方の安全と装置の故障防止のため、常に以下の点にご注意ください。

コンピュータやディスプレイから（コードではなくプラグを持って）電源プラグを抜き、以下の条件のいずれかがあてはまる場合はモデムコードも抜いてください：

- 電源コードやプラグがすり切れているときや壊れているとき
- 本体内部に液体が流れ込んだとき
- コンピュータまたはディスプレイが雨にあたったときや、過度の湿気にさらされたとき
- コンピュータまたはディスプレイを落としたときや、本体の外面が破損したとき
- コンピュータやディスプレイの保守サービスや修理が必要だと思われるとき
- コンピュータやディスプレイ本体や画面を清掃するとき
- コンピュータ内部で、またはコンピュータから冷却液が漏れていることに気付いたとき（水冷システムが装備されている Power Mac G5 モデルの場合）

- コンピュータを長期間保管しておく場合は、バッテリーを取り外してください。

⚠ **警告：**事故およびコンピュータやディスプレイの破損を防ぐために、必ず次の注意事項を守ってください：

- 水のある場所のそばにはコンピュータやディスプレイを近付けないでください。
- コンピュータやディスプレイの上には何も置かないでください。
- コンピュータやディスプレイの通気口を障害物でさえぎらないでください。
- コンピュータが稼動しているときには、本体をディスプレイから取り外したり、コンピュータのカバーを開けたりしないでください。高電圧に感電するおそれがあります。
- 落雷のおそれがあるときには、過電圧によってモデムが故障しないように、モジュラージャックからモデムを取り外してください。

お求めの Macintosh に付属の電源コードには、アース線が付いています。これは、コンピュータを安全にお使いいただくための機能です。アース端子が付いていないコンセントにつなぐためにプラグを改造しないでください。適切なコンセントに変える場合は、電器店にご相談ください。アース線は、できれば接続するようにしてください。

コンピュータやディスプレイを持ち上げたり、移動したりする場合は注意してください。足を使って、正しく持ち上げてください。ディスプレイを運ぶ場合は、ディスプレイの正面を体の方に向けて運びます。ディスプレイのスタンド部分を持たないでください。コンピュータやディスプレイを持ち上げたり、移動したりする場合は注意してください。足を使って、正しく持ち上げてください。ディスプレイを運ぶ場合は、ディスプレイの正面を体の方に向けて運びます。ディスプレイのスタンド部分を持たないでください。

電気製品は、取り扱いを誤ると大変危険です。本製品をお子様がお使いになるときは、そばで大人の方が監視・指導してあげてください。また、電気製品の内部やケーブル、コード類にはお子様が手を触れないようにご注意ください。

水冷システム

Power Mac G5 の一部のモデルは、コンピュータ内の温度の管理に水冷システムを採用しています。この水冷システムは封印されており、アップル正規サービスプロバイダ（AASP）だけが開くように設計されています。

⚠ **警告：**水冷システムを開こうとしたり、修理しようとしたりしないでください。水冷システムを開くと装置が故障する危険性があり、そのような場合の故障に対しては、製品保証が適用されない場合があります。

> **警告：**コンピュータは、必ず直立させた状態で操作してください。万一コンピュータ内部で、またはコンピュータから冷却液が漏れた場合は、コンピュータからすべての電源を外し、再起動はしないでください。コンピュータに関するサービスについては、アップル正規サービスプロバイダまたはアップルにお問い合わせください。
>
> 電源を外した後、吸水性のある布を使って冷却液を拭いてください。吸い込んだり、皮膚に直接触れたりしないようにしてください。冷却液により皮膚が少しかぶれるおそれがあります。冷却液に触れた場合は、石鹸と水で十分に洗ってください。冷却液が目に入った場合は、水で十分に洗い流してください。清掃用品はすべて、お住まいの地域の環境に関する法律、規則、およびガイドラインに従って廃棄してください。
>
> 冷却液は、飲み込むと害がある場合があります。MSDS（化学物質等安全データシート）は、www.apple.com/jp/environment/resources/msds.html で入手できます。

サービスまたは保証に関する質問については、アップル正規サービスプロバイダまたはアップルに問い合わせてください。サービスおよびサポートに関する情報は、お使いのコンピュータのマニュアルに記載されています。

環境向上への取り組み

アップルは、自社の活動と製品が環境に及ぼす影響を最小限に抑える責任があることを認識しています。

詳しい情報については、次の Web サイトを参照してください：
www.apple.com/jp/environment/summary.html

一般的な保守

コンピュータやディスプレイをきれいな布で拭くだけでなく、さらにていねいに清掃する場合は、以下の手順に従ってください：

1. コンピュータとディスプレイの電源を切ります。
2. コンピュータの電源ケーブルをコンセントや電源タップから抜きます。ディスプレイがコンセントに接続されている場合は、同様にケーブルを抜きます。
3. ディスプレイのケーブルをコンピュータから抜きます。
4. ディスプレイのスクリーンは、柔らかくけば立たない紙か、低刺激性の石鹸と水で湿らせた布で拭いてください。

> **警告：**ディスプレイのスクリーンに液体を直接吹きかけないでください。液体がディスプレイ内部に入り込み、感電の原因になる可能性があります。

5. コンピュータやディスプレイ本体の表面は、きれいな柔らかい布を水で湿らせて軽く拭いてください。

   重要：アルコール、スプレー式の液体クリーナー、溶剤、研磨剤は本体表面を傷つける可能性があるので使用しないでください。

光学式ドライブを保護する

光学式ドライブを正しく機能させるには：

- ドライブのトレイを開いたとき何かにぶつかったりしないようにコンピュータを設置してください。
- 使用しないときにはドライブを閉じてください。
- ドライブのトレイが開いているときには、トレイに何も置かないでください。
- 光学式ドライブのレンズを指で触らないでください。ペーパータオルなどの表面が粗いものでレンズを拭かないでください。レンズを清掃する場合は、アップル正規サービスプロバイダでレンズクリーナーをお求めください。
- コンピュータは湿気のある場所のそばに置かないでください。

ディスプレイの保守

ディスプレイを保守して寿命を延ばすには：

- ディスプレイのスクリーン表面を押さないでください。
- スクリーンの上に何か書いたり、とがったものでスクリーンを触らないでください。
- ディスプレイとコンピュータを1日以上使用しない場合は､コンピュータとディスプレイの電源を切るか、または省エネルギー設定の機能を使用してください。
- 長時間コンピュータが放置される場合は、ディスプレイの電源を切るか、輝度を落とします。または、画面の輝度を落としたり、画面上のイメージを変更してくれるスクリーンセーバーを使用してください。

作業環境および健康に関する重要な情報

ここでは、コンピュータを使う場所で、画面が見やすくなるように照明を調節したりイスや机を各自の身体に合わせて調節したりするためのポイントを紹介します。

- イスは、調節機構付きで、快適で安定感のあるものが理想的です。イスの高さは、座ったときに太腿がほぼ水平になるように調節しましょう。このとき、足の裏全体が床に着くようにしてください。

  イスは、背もたれが腰の部分を支えるように調節しましょう。使っているイスの説明書などを参照して、背もたれを自分の身体に合わせて調節してください。

- コンピュータのキーボードを使うときは肩に力を入れすぎないようにしてください。また、ひじは直角に曲げ、ひじから先がほぼ一直線になるようにしましょう。

  キーボードを操作するときにひじを直角に保つためには、イスの高さを調節する必要があるかもしれません。イスを高くしたことで、足の裏全体が床に着かなくなったときは、足は台のようなものに載せてもかまいません。机の高さを調節できる場合は、足を台に載せる代わりに、机を低くしてもかまいません。また、机よりもやや低い位置にキーボード専用の台が付いている机を利用する方法もあります。

- マウスはキーボードと同じ高さで使いましょう。また、マウスを快適に使うため、十分な空間を確保してください。

- ディスプレイは、キーボードの前に座ったときに画面の上端が目の高さかそれよりもやや低くなるように設置しましょう。目から画面までの距離は各自で決めてかまいませんが、45 〜 70cm 程度の間隔を取るのが一般的なようです。
- ディスプレイは、画面に窓の明かりや照明などが反射しないような場所に設置しましょう。ディスプレイ用のスタンドに傾斜調節機能が付いていれば、それを利用するのもよいでしょう。ディスプレイ用のスタンドを利用すれば、ディスプレイを表示に最適な角度に設置して、動かすことのできない光源から出るまぶしい光を避けることができます。



健康、安全性、および保守について詳しくは、作業環境に関するアップルの Web サイト（www.apple.com/jp/about/ergonomics）を参照してください。

聴覚が損なわれないようにする

警告：イヤフォンやヘッドフォンを大きな音で使用すると、聴覚に障害が生じる場合があります。大音量で聞いていると耳が慣れて普通に聞こえるようになりますが、聴覚を損なう危険があります。耳鳴りがしたり声がこもって聴こえたりする場合は、使用を中止し、聴覚の検査を受けてください。音量が大きいほど、聴覚への影響が早く現れます。専門家は、聴覚を保護するために次のことを推奨しています：

- イヤフォンやヘッドフォンを大音量で使用する時間を制限する
- 周囲の騒音を遮断するために音量を上げるのは避ける
- だれかが話しかける声が聞こえない場合は音量を下げる

インターネットに接続する

C

付録

コンピュータを使って、World Wide Web をブラウズしたり、友達や家族にメールを送ったり、インターネット上でリアルタイムでチャットしたりできます。インターネットに接続するには、この詳しいガイドを使用してください。

はじめて Mac OS X を起動するときに、「設定アシスタント」を使ってインターネット設定情報を簡単に入力することができます。

「設定アシスタント」を使ってインターネット接続を設定しなかった場合は、ここで「設定アシスタント」を使って設定できます。「システム環境設定」を開き、「ネットワーク」をクリックします。「アシスタント」ボタンをクリックして、「ネットワーク設定アシスタント」を開きます。「ネットワーク設定アシスタント」を使用しない場合は、この付録を参照して手入力で接続を設定できます。

インターネット接続には、次の 4 つの種類があります：

- ダイヤルアップ接続： 外部モデムをコンピュータの USB ポートにつなぎ、モデムケーブルを使ってモデムと電話のモジュラージャックを接続します。
- 高速 DSL モデムまたはケーブルモデム接続： Ethernet ケーブルを使って、ISP から提供された特別なモデムにコンピュータをつなぎます。
- AirMac Extreme ワイヤレス接続： AirMac Extreme ベースステーションまたは AirMac Express ベースステーションを使って、ワイヤレスでインターネットにコンピュータを接続します。
- LAN（Local Area Network）： Ethernet ケーブルを使って、LAN にコンピュータをつなぎます。会社などで一般に使用されている方法です。

インターネットに接続する前に：

1 ISP のアカウントを設定します。電話帳のインターネット関連のページで、ISP を見つけることができます。「インターネットアクセス」、「インターネットサービス」、「オンライン」などの見出しで探してください。

2 必要な接続情報を ISP またはネットワーク管理者から入手します。同じ場所にある別のコンピュータがすでにインターネットに接続されている場合は、その設定を使用できることがあります。

Mac OS X コンピュータで設定情報を見つけるには：

- 「システム環境設定」の「ネットワーク」パネルを開きます。
- 「表示」ポップアップメニューからお使いの接続方法を選択します。
- お使いの設定に関する情報をコピーします。

Mac OS 9 コンピュータで設定情報を見つけるには：

- 「TCP/IP」コントロールパネルを開きます。
- 「経由先」ポップアップメニューで接続方法を見つけます。
- 「設定方法」ポップアップメニューで設定を見つけます。
- 対応するフィールドからIPアドレス、サブネットマスク、およびルーターアドレスをコピーします。

Windows PC で設定情報を見つけるには：

Windows コンピュータの接続情報は 2 つの場所にあります。

- IP アドレスとサブネットマスクを見つけるには、「ネットワーク接続」コントロールパネルを開きます。
- ユーザアカウント情報を見つけるには、「ユーザー アカウント」 コントロールパネルを開きます。

次のページ以降に情報を直接書き込むことができます。次に、その情報を「設定アシスタント」に入力します。

3. 外部モデムを使用する場合は、モデムをコンピュータの USB ポートにつなぎ、モデムケーブルをモデムのポートと電話のモジュラージャックにつなぎます。DSL モデムまたはケーブルモデムを使用する場合は、モデムに付属の指示に従ってモデムをコンピュータに接続します。
4. お使いのコンピュータの電源を入れ、「設定アシスタント」に情報を入力してインターネット接続を設定します。

参考：コンピュータを起動済みで、インターネット接続の設定に「設定アシスタント」を使用しなかった場合は、アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択し、「ネットワーク」をクリックします。次に「アシスタント」をクリックします。「設定アシスタント」が表示されます。

必要な情報を用意する

インターネット・サービス・プロバイダ（ISP）、ネットワーク管理者、またはほかのコンピュータから入手した情報をこれ以降のページに書き込んでから、その情報を「ネットワーク設定アシスタント」に入力することができます。

モデムによるダイヤルアップ接続を設定するには、次の情報を取得します：

- サービスプロバイダ名
- ユーザ名またはアカウント名
- パスワード
- ISP の電話番号
- 代替電話番号
- 外線発信番号

DSL モデム、ケーブルモデム、LAN、または AirMac Extreme ワイヤレス接続を設定するには：

- まず、接続方法を選びます（分からない場合は、システム管理者または ISP に問い合わせてください）：
  - 手入力
  - DHCP を使ってアドレスを手入力
  - DHCP サーバを参照
  - BOOTP サーバを参照
  - PPP

どの方法を使用したらいいかが分からない場合は、「DHCP サーバを参照」を選択することをお勧めします。「DHCP サーバを参照」を選択すると、必要な情報の大半がネットワークにより自動的に提供されます。

「手入力」または「DHCP を使ってアドレスを手入力」を選択した場合は、次の情報を取得します：

- IP アドレス
- サブネットマスク
- ルーターアドレス

参考：「DHCP を使ってアドレスを手入力」を選んだ場合は、サブネットマスクまたはルーターアドレスは必要ありません。

「DHCP サーバを参照」を選んだ場合は、以下のオプション情報を用意します（必要な場合は、ISP に問い合わせてください）：

- DHCP クライアント ID
- DNS サーバ

「PPP」（PPPoE 接続用）を選んだ場合は、次の情報を取得します：

- サービスプロバイダ
- アカウント名
- パスワード
- PPPoE サービス名

次の情報はオプションです。必要な情報かどうか、お使いの ISP またはシステム管理者に問い合わせてください。

- DNS サーバ
- ドメイン名
- プロキシサーバ

情報を入力する

ISP またはネットワーク管理者から正しい設定情報を収集したら、「ネットワーク」環境設定パネルの「アシスタント」ボタンをクリックして「ネットワーク設定アシスタント」を開くか、手入力で情報を入力します。

手入力で情報を入力するときは、接続方法に応じた手順に従います。

- ダイヤルアップモデムを使った PPP（Point-to-Point Protocol）接続（92 ページを参照）
- 次の設定を使用したケーブルモデム、DSL、または LAN 接続（95 ページを参照）：
  - 手入力
  - DHCP
  - PPPoE
- AirMac Extreme ワイヤレス接続（99 ページを参照）

ダイヤルアップ接続

ダイヤルアップモデムは、インターネットに接続する一般的な方法です。モデムは、PPP（Point-to-Point Protocol）と呼ばれる方式を使って ISP に接続します。

外部モデムがコンピュータの USB ポートと電話回線にしっかりとつながっていることを確認してください。ISP から提供された情報を用意してください。

内蔵モデムポートのネットワーク環境設定を設定するには：

1. メニューバーからアップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。
2. 「ネットワーク」をクリックします。

3 「表示」ポップアップメニューから「ネットワークポート設定」を選択し、「外部モデム」の横にある「入」チェックボックスを選択します。



4 「外部モデム」を「ポート設定」リストの一番上にドラッグして、優先するネットワークインターフェイスにします。

5 「表示」ポップアップメニューから「外部モデム」を選択し、「PPP」をクリックします。

6 ISP から提供された情報を入力し、「今すぐ適用」をクリックします。



インターネット設定をテストするには：

1 「アプリケーション」フォルダ内にある「インターネット接続」アプリケーションを開きます。

2 必要に応じて、「外部モデム」アイコンをクリックします。

3 必要に応じて、ダイヤルアップの電話番号、アカウント名、およびパスワードを入力します。

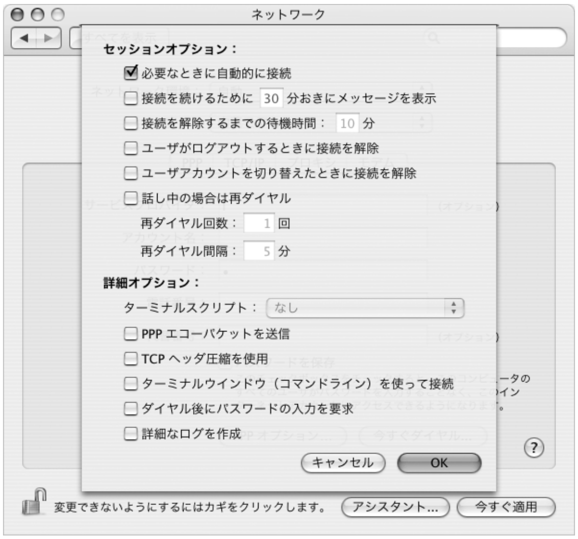
4 「接続」をクリックします。

「インターネット接続」は、ISP にダイヤルして接続を確立します。

Web ブラウザやメールなどのインターネットアプリケーションの起動時に自動的に接続するには：

1 「ネットワーク」環境設定の「PPP」パネルにある「PPP オプション」をクリックします。

2 「必要なときに自動的に接続」チェックボックスを選択します。



3 「OK」と「今すぐ適用」をクリックします。

DSL モデム、ケーブルモデム、LAN でのインターネット接続

DSL モデム、ケーブルモデム、または Ethernet LAN を使ってインターネットに接続する場合は、インターネット接続の設定方法を ISP またはネットワーク管理者に問い合わせてください：

- 手入力：手入力で設定する場合は、静的 IP アドレスと「ネットワーク」環境設定に入力するその他の情報が ISP またはネットワーク管理者から提供されます。
- DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を使用する：DHCP 設定の場合は、DHCP サーバが自動的に情報を入力します。
- PPPoE（Point-to-Point Protocol over Ethernet）を使用する：DSL モデムを使用していて、インターネットに接続するためのユーザ名とパスワードが必要な場合は、PPPoE を使ったネットワークの設定が必要な場合があります。

ネットワークを設定するときに ISP から提供された情報が利用できることを確認してください。

内蔵 Ethernet ポートのネットワーク環境設定を設定するには：

1 メニューバーからアップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。

2 「ネットワーク」をクリックします。

3 「表示」ポップアップメニューから「ネットワークポート設定」を選択します。

4 「内蔵 Ethernet」の横にある「入」チェックボックスを選択します。



5 「内蔵 Ethernet」を「ポート設定」リストの一番上にドラッグして、優先するネットワークインターフェイスにします。

次に、ISP またはネットワーク管理者に指示された通りに、ネットワークを手入力、DHCP、または PPPoE で設定するための手順に従います。

手入力による設定

ISP から提供された静的 IP アドレス、ルーターアドレス、サブネットマスク情報を用意します。

手入力による設定を行うには：

1 「ネットワーク」環境設定で、「表示」ポップアップメニューから「内蔵 Ethernet」を選択します。

2 必要に応じて、「TCP/IP」をクリックします。

3 「IPv4 の設定」ポップアップメニューから「手入力」を選択します。



4 対応するフィールドにほかの情報を入力します。

5 「今すぐ適用」をクリックします。

いったんネットワークを設定すれば、いつでも接続することができます。Web ブラウザ（または別の TCP/IP アプリケーション）を開いて、インターネット接続をテストします。

DHCP による設定

DHCP による設定を行うと、DHCP サーバから自動的にネットワーク情報が提供されます。

DHCP による設定を行うには：

1 「ネットワーク」環境設定で、「表示」ポップアップメニューから「内蔵 Ethernet」を選択します。

2 必要に応じて、「TCP/IP」をクリックします。

3 「IPv4 の設定」ポップアップメニューから「DHCP サーバを参照」を選択します。



4 「今すぐ適用」をクリックします。

Web ブラウザ（または別の TCP/IP アプリケーション）を開いて、インターネット接続をテストします。

参考：ISP から特に指示されていない限り、「DHCP クライアント ID」フィールドと「検索ドメイン」フィールドは無視します。

PPPoE による設定

DSL ベースの ISP の中には、PPPoE（Point-to-Point Protocol over Ethernet）を使用しているところがあります。DSL モデムを使用していて、インターネットに接続するためにユーザ名とパスワードが必要な場合は、ISP に問い合わせて、PPPoE を使って接続する必要があるかどうか確認してください。

PPPoE による接続を設定するには：

ネットワークを設定するときに、ISP から提供されたユーザ名、パスワード、および必要に応じて DNS（ドメイン・ネーム・サーバ）アドレスを用意します。

1 「ネットワーク」環境設定で、「表示」ポップアップメニューから「内蔵 Ethernet」を選択します。

2 「PPPoE」をクリックし、「PPPoE を使って接続」を選択します。



3 対応するフィールドに情報を入力します。お使いになっているコンピュータのすべてのユーザが同じ接続方法を使うようにしたい場合は、「パスワードを保存する」を選択します。

参考：Web ブラウザやメールなどの TCP/IP アプリケーションを起動したときに自動的に接続するには、「PPPoE オプション」をクリックしてから、「必要なときに自動的に接続」を選択し、「OK」をクリックします。



4 「TCP/IP」をクリックし、ISP に指示された通りに、「IPv4 の設定」ポップアップメニューから「PPP を使用」または「手入力」を選択します。ISP から静的な IP アドレスを提供されている場合は、「手入力」を選択して「IP アドレス」フィールドにそのアドレスを入力します。

5 「DNS サーバ」フィールドに、DNS（ドメイン・ネーム・サーバ）のアドレスを入力します。



6 「今すぐ適用」をクリックします。

いったんネットワークを設定すると、いつでもインターネットに接続できます。Web ブラウザやその他の TCP/IP アプリケーションを開いて、接続をテストできます。

重要：自動接続のオプションを選択しなかった場合は、「インターネット接続」アプリケーションを開いて正しい設定を選択してから「接続」をクリックする必要があります。詳しくは、画面の上部にあるメニューバーから「ヘルプ」＞「インターネット接続ヘルプ」と選択してください。

AirMac ワイヤレス接続

お使いの Power Mac G5 に AirMac Extreme が搭載されている場合は、「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」フォルダにある「AirMac 設定アシスタント」を使用して、AirMac ネットワークとインターネット接続を設定できます。「設定アシスタント」は、AirMac ベースステーションを設定し、AirMac を使用するようにコンピュータを設定するのに役立ちます。AirMac ベースステーションについて詳しくは、お使いのベースステーションに付属の「AirMac Extreme ベースステーション設定ガイド」を参照してください。

お使いの AirMac ベースステーションがすでに設定されていれば、ほとんどの場合 AirMac Extreme テクノロジーによってすぐにアクセスすることができます。

AirMac ネットワークにアクセスできるかどうかを確認するには：

- メニューバーの AirMac ステータスアイコンをクリックし、AirMac ネットワークを選択します。



リストに AirMac ネットワークがない場合は、「AirMac 設定アシスタント」を使って設定を確認または変更することも、「システム環境設定」の「ネットワーク」パネルを使って設定を変更することもできます。

手動で AirMac 接続を設定する

手動で接続を設定する場合は、システム管理者から以下の情報を入手します。

DHCP を使用して接続する場合は、これらの情報のほとんどはネットワークからコンピュータに自動的に提供されるため、必要事項をシステム管理者に問い合わせてください。

- 必要であれば、DNS（ドメイン・ネーム・サーバ）のアドレス
- DHCP または手入力による IP アドレスの設定
- IP アドレス
- ルーターアドレス
- サブネットマスク
- 必要であれば、パスワード

次に、「ネットワーク」環境設定で AirMac 接続のオプションが有効になっていることを確認します。

AirMac 接続のネットワーク環境設定を設定するには：

1. メニューバーからアップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。
2. 「ネットワーク」をクリックします。
3. 「表示」ポップアップメニューから「ネットワークポート設定」を選択します。

4 「AirMac」の横にある「入」チェックボックスを選択します。



次に、ISP またはネットワーク管理者に指示された通りに、ネットワークを手入力または DHCP のいずれかで設定するための手順に従います。自分でネットワークを設定する場合は、サーバによって IP アドレスが自動的に割り当てられるので DHCP を使ってネットワークを設定する方が簡単です。

5 「表示」ポップアップメニューから「AirMac」を選びます。

6 必要に応じて、「TCP/IP」をクリックします。

7 「IPv4 の設定」ポップアップメニューで、「手入力」または「DHCP サーバを参照」を選択します。



- 「手入力」を選択した場合は、その他の情報を対応するフィールドに入力してください。
- 「DHCP サーバを参照」を選択した場合は、システム管理者の指示がない限り、さらに情報を入力する必要はありません。

8 「AirMac」をクリックして、再起動後やコンピュータがスリープ状態から元に戻ったときに AirMac Extreme ネットワークに接続するためのオプションを選択します。

9 「今すぐ適用」をクリックします。

いったん AirMac の設定を行うと、いつでも接続することができます。

AirMac 接続をテストするには：

- メニューバーの AirMac ステータスアイコンをクリックし、「AirMac を入にする」を選択します。

通信圏内にある AirMac Extreme ネットワークがすべてメニューに表示されます。

接続のトラブルシューティング

ケーブルモデム、DSL モデム、LAN でのインターネット接続

AirMac、内蔵 Ethernet、または外部モデムを使用してインターネットに接続できない場合は、ネットワーク診断を使用して接続の問題を診断できます。「システム環境設定」の「ネットワーク」パネルにある「アシスタント」をクリックして、「診断」をクリックし、画面の指示に従います。

ネットワーク診断で問題を解決できない場合は、接続しようとしている ISP、ISP に接続するために使用している外部デバイス、またはアクセスを試みているサーバに問題がある可能性があります。以下の手順を使用することもできます：

ケーブルや電源をチェックする

モデムの電源コード、モデムとコンピュータの接続コード、モデムとモジュラージャックの接続コードなどのすべてのモデムケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。Ethernet ハブやルーターへのケーブルと電源を確認します。

モデムの電源を切ってから再投入し、モデムハードウェアをリセットする

DSL モデムまたはケーブルモデムの電源を数分間切ってから、電源を再投入します。ISP の中には、モデムの電源コードを抜くことを勧めるところもあります。モデムにリセットボタンがついている場合は、いったん電源を切って再投入する前か後でリセットボタンを押すことができます。

PPPoE 接続

PPPoE を使用してインターネット・サービス・プロバイダに接続できない場合は、まずケーブルと電源をチェックしてからモデムハードウェアの電源を切って再投入し、リセットします。

システム環境設定の設定をチェックする：

1 アップル（）メニュー＞「システム環境設定」と選択します。
2 「ネットワーク」をクリックします。
3 「表示」ポップアップメニューから「ネットワークポート設定」を選択します。
4 「内蔵 Ethernet」を「ポート設定」リストの一番上にドラッグします。
5 「表示」ポップアップメニューから「内蔵 Ethernet」を選択します。
6 「PPPoE」をクリックします。
7 「PPPoE を使って接続」を選択します。
8 「アカウント名」フィールドをチェックして、ISP から提供された正しい情報を入力していることを確認します。
9 パスワードの保存を選択していた場合は、パスワードが正しいことを確認するためにパスワードをもう一度入力します。
10 「TCP/IP」をクリックします。ISP から提供された正しい情報をこのパネルに入力したことを確認してください。
11 「今すぐ適用」をクリックします。

ネットワーク接続

2 台以上のコンピュータでインターネット接続を共有する場合は、ネットワークが正しく設定されていることを確認してください。ISP が 1 つの IP アドレスのみを提供しているか、各コンピュータに 1 つずつ複数の IP アドレスを提供しているかを、知っておく必要があります。

1 つの IP アドレスのみを使用する場合は、接続を共有できるルーター、すなわちネットワークアドレス変換（NAT）または「IP マスカレーディング」が可能なルーターを用意する必要があります。設定情報については、ルーターに付属のマニュアルを確認するか、ネットワークの設定担当者に確認してください。AirMac Extreme ベースステーションを使って、1 つの IP アドレスを複数のコンピュータで共有することができます。AirMac Extreme ベースステーションの使用方法について詳しくは、オンスクリーンヘルプを確認するか、アップルの AirMac の Web サイト（www.apple.com/jp/airmac）を参照してください。

上記の手順で問題が解決しない場合は、ISP に問い合わせてください。

通信情報機器に関する規制

FCC Compliance Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.

Radio and Television Interference

This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

If necessary, consult an Apple Authorized Service Provider or Apple. See the service and support information that came with your Apple product. Or, consult an experienced radio/television technician for additional suggestions.

Important: Changes or modifications to this product not authorized by Apple Computer, Inc., could void the EMC compliance and negate your authority to operate the product.

This product has demonstrated EMC compliance under conditions that included the use of compliant peripheral devices and shielded cables between system components. It is important that you use compliant peripheral devices and shielded cables (including Ethernet network cables) between system components to reduce the possibility of causing interference to radios, television sets, and other electronic devices.

Responsible party (contact for FCC matters only):
Apple Computer, Inc. Product Compliance,
1 Infinite Loop M/S 26-A
Cupertino, CA 95014-2084

AirPort Extreme and Bluetooth Wireless Information

FCC Bluetooth Wireless Compliance

The antenna used with this transmitter must not be colocated or operated in conjunction with any other antenna or transmitter subject to the conditions of the FCC Grant.

Bluetooth Industry Canada Statement

This Class B device meets all requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.

Cet appareil numérique de la Class B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Bluetooth Europe—EU Declaration of Conformity

This wireless device complies with the specifications EN 300 328, EN 301-489, and EN 60950 following the provisions of the R&TTE Directive.

Industry Canada Statement

This Class B device meets all requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.
Cet appareil numérique de la Class B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

VCCI クラス B 基準について

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取扱をしてください。

Europe - EU Declaration of Conformity

Complies with European Directives 72/23/EEC, 89/336/EEC, and 99/5/EC.

Laser Information

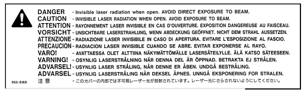
> ***Warning:*** Making adjustments or performing procedures other than those specified in your equipment's manual may result in hazardous radiation exposure.

Do not attempt to disassemble the cabinet containing the laser. The laser beam used in this product is harmful to the eyes. The use of optical instruments, such as magnifying lenses, with this product increases the potential hazard to your eyes. For your safety, have this equipment serviced only by an Apple-authorized service provider.

Because of the optical disc drive in your computer, your computer is a Class 1 laser product. The Class 1 label, located in a user-accessible area, indicates that the drive meets minimum safety requirements. A service warning label is located in a service-accessible area. The labels on your product may differ slightly from the ones shown here.



Class 1 label



Service warning label

Exposure to Radio Frequency Energy

The radiated output power of the optional AirPort Extreme is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, it is advised to use the wireless equipment in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized.

Mouse and Keyboard Information

The Apple optical mouse is a Class 1 LED product. This product complies with the requirements of European Directives 72/23/EEC and 89/336/EEC.

It also complies with the Canadian ICES-003 Class B Specification.

危険性の高い行為に関する警告

このコンピュータシステムは、原子力施設・飛行機の航行や通信システム・航空管制システムなど、コンピュータシステムの障害が生命の危険や身体の障害、あるいは重大な環境破壊につながるようなシステムにおける使用を目的としていません。

ENERGY STAR® Compliance

As an ENERGY STAR® partner, Apple has determined that standard configurations of this product meet the ENERGY STAR® guidelines for energy efficiency. The ENERGY STAR® program is a partnership with office product equipment manufacturers to promote energy-efficiency. Reducing energy consumption of office products saves money and reduces pollution by eliminating wasted energy.

廃棄とリサイクルに関する情報

使用済みの Power Mac G5 およびバッテリーを廃棄する際は、お住まいの地域の環境法と廃棄基準に従ってください。

アップルのリサイクルプログラムについては、次の Web サイトを参照してください：
www.apple.com/jp/environment/summary.html

European Union: This symbol means that according to local laws and regulations, your product should be disposed of separately from household waste. When this product reaches its end of life, take it to a collection point designated by local authorities. Some collection points accept products for free. The separate collection and recycling of your product at the time of disposal will help conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment.

Nederlands: Gebruikte batterijen kunnen worden ingeleverd bij de chemokar of in een speciale batterijcontainer voor klein chemisch afval (kca) worden gedeponeerd.

Deutschland: Das Gerät enthält Batterien. Diese gehören nicht in den Hausmüll. Sie können verbrauchte Batterien beim Handel oder bei den Kommunen unentgeltlich abgeben. Um Kurzschlüsse zu vermeiden, kleben Sie die Pole der Batterien vorsorglich mit einem Klebestreifen ab.

Taiwan:

廢電池請回收